認　定　書

国住指第３０９号
平成１５年６月１３日

鐘淵化学工業株式会社

代表取締役社長　武田正利　　様

国土交通大臣　　林　寛子

下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第６８条の２６第１項（同法第８８条第１項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第２条第七号の二並びに同法施行令第１０７条の２第一号、第二号及び第三号（外壁（耐力壁）：各４５分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

ＱＦ０４５ＢＥ－０１１７

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

木繊維混入セメントけい酸カルシウム板・押出法ポリスチレンフォーム保温板表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

認　定　書

国住指第３０９号
平成１５年６月１３日

鐘淵化学工業株式会社

代表取締役社長　武田正利　　様

国土交通大臣　　林　寛一

下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第６８条の２６第１項（同法第８８条第１項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第２条第七号の二並びに同法施行令第１０７条の２第一号、第二号及び第三号（外壁（耐力壁）：各４５分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

ＱＦ０４５ＢＥ－０１１７

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

木繊維混入セメントけい酸カルシウム板・押出法ポリスチレンフォーム保温板表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

別添

1. 構造名：
木繊維混入セメントけい酸カルシウム板・押出法ポリスチレンフォーム保温板表張／
せっこうボード裏張／木製軸組造外壁

2. 申請仕様の寸法：
申請仕様の寸法を表１に示す。

表１　申請仕様の寸法

項　　目	申　請　仕　様
壁の高さ	構造計算により構造安定性が確認できる高さとする
壁厚	165㎜以上
柱、間柱間隔	500㎜以下

3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表２に示す。

表２　申請仕様の主構成材料

項　目	申　請　仕　様
柱 （荷重支持部材）	材料：日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は構造用集成材 寸法：105㎜×105㎜以上
間柱	材料：日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は構造用集成材 寸法：27㎜×105㎜以上
外装材	材料：窯業系サイディング（JIS A 5422） （以下「サイディング」という） ①、②又は③ 組成： ①木繊維補強セメント板 (JISの難燃２級以上) A)木繊維混入セメント・けい酸カルシウム板 けい酸カルシウム化合物　70～80 質量% 有機質繊維　10～15 質量% 無機質繊維　0～5 質量% 有機質混和材　0～3 質量% 無機質混和材　10～15 質量% B)硬質木片セメント板 セメント質原料　73～78 質量% 木片　22～27 質量% ②繊維補強セメント板 (JISの難燃１級) セメント質原料　65～85 質量% 有機質繊維　2～8 質量% 無機質繊維　0～6 質量% 有機質混和材　0～3 質量% 無機質混和材　7～30 質量% ③繊維補強セメント・けい酸カルシウム板 (JISの難燃１級) けい酸カルシウム化合物　65～96 質量% 有機質繊維　0～5 質量% 無機質繊維　0～4 質量% 有機質混和材　0～3 質量% 無機質混和材　0～30 質量% 但し、 ・繊維質原料 有機質：木繊維、パルプ、ポリビニルアルコール、ポリプロピレン　等 無機質：ガラス繊維、ロックウール、マイカ、セラミック繊維　等 ・混和材 有機質：木粉、メチルセルロース、撥水剤　等 無機質：パーライト、炭酸カルシウム、タルク、シラスバルーン　等
	表面塗料： 種類：①～⑥の一 ①アクリルウレタン樹脂系塗料　②アクリル樹脂系塗料 ③シリコーン樹脂系塗料　④ふっ素樹脂系塗料 ⑤エポキシ樹脂系塗料　⑥無機質系塗料（ﾎﾟﾘｼﾛｷｻﾝ系樹脂等） 塗布量：200g/m²以下（有機固形分）
	密度：1.1±0.2Mg/m³

つづく

つづき

外装材	形状： 1) 外形寸法 厚さ：12㎜～25㎜ ・厚さ：12㎜～14㎜の場合 幅：最小400㎜～最大1210㎜ 長さ：最小1820㎜～最大3640㎜ ・厚さ：15㎜～25㎜の場合 幅：最小303㎜～最大910㎜ 長さ：最小910㎜～最大3640㎜ 2) 端部形状：(サイディング相互の重なりと隙間) 重なり：6㎜以上、隙間：3㎜以下 3) 断面形状：厚さ：12㎜～25㎜ ・厚さ：12㎜～14㎜の場合 最小板厚(中実部)： 8㎜以上 模様深さ：容積欠損率：8%以下 (但し、板厚12㎜を超える場合は裏面から12㎜の位置での欠損率とする) ・厚さ：15㎜～25㎜の場合 最小板厚(中実部)： 11㎜以上 模様深さ：容積欠損率：11%以下 (但し、板厚15㎜を超える場合は裏面から15㎜の位置での欠損率とする) ・中空率：37%以下 (但し、板厚15㎜を超える場合は厚さを増した分だけ中空率を上げることができる)
構造用面材	材料：①～⑭の一 ①なし ②構造用合板（日本農林規格に適合するもの）：厚さ7.5㎜以上 ③構造用パネル（日本農林規格に適合するもの）：厚さ9㎜以上 ④パーティクルボード (JIS A 5908)：厚さ12㎜以上 ⑤ハードボード (JIS A 5905)：厚さ5㎜以上 ⑥硬質木片セメント板 (JIS A 5404)：厚さ12㎜以上 ⑦フレキシブル板 (JIS A 5430)：厚さ6㎜以上 ⑧パルプセメント板 (JIS A 5414)：厚さ8㎜以上 ⑨せっこうボード (JIS A 6901)：厚さ12.5㎜以上 ⑩シージングボード (JIS A 5905)：厚さ12㎜以上 ⑪けい酸カルシウム板 (JIS A 5430)：厚さ8㎜以上 ⑫火山性ガラス質複層板 (JIS A 5440)：厚さ9㎜以上 ⑬ミディアムデンシティファイバーボード(JIS A 5905)：厚さ7㎜以上 ⑭積層繊維板 ：厚さ3.94㎜
内装材	材料：①～④の一 ①厚さ15㎜以上のせっこうボード（JIS A 6901） ②厚さ12.5㎜以上のせっこうボード(JIS A 6901)の上に厚さ9.5㎜以上のせっこうボード(JIS A 6901)を張ったもの ③厚さ9.5㎜以上のせっこうボード(JIS A 6901)の上に厚さ12.5㎜以上のせっこうボード(JIS A 6901)を張ったもの ④厚さ9.5㎜以上のせっこうラスボード(JIS A 6901)の上に厚さ8㎜以上のせっこうプラスター(JIS A 6904)を塗ったもの
断熱材	材料：押出法ポリスチレンフォーム保温板（JIS A 9511） 3種、1種又は2種 (密度39kg/m³以下) 厚さ：15㎜～90㎜
補強断熱材	材料：①又は② ①押出法ポリスチレンフォーム保温板 (JIS A 9511) 3種、1種又は2種 (密度39kg/m³以下) 厚さ：15㎜～100㎜ ②なし

4. 申請仕様の副構成材料：

申請仕様の副構成材料を表３に示す。

表３　申請仕様の副構成材料

項　目	申　請　仕　様
胴縁	材料：日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は下地用製材 寸法：18㎜×45㎜以上、　目地部 18×90㎜以上
防水シート	材料：①、②又は③ ①アスファルトフェルト（JIS A 6005）：430g/㎡ ②透湿防水シート（JIS A 6111）：厚さ0.3㎜以下 材質：1)、2)又は3) 1)ポリエチレン　2)ポリエステル　3)ポリプロピレン ③なし
防湿気密 フィルム	材料：①又は② ①防湿気密フィルム：厚さ0.2㎜以下 種類：1)、2)又は3) 1)住宅用プラスチック系防湿フィルム（JIS A 6930）：ポリエチレン 2)包装用ポリエチレンフィルム　（JIS Z 1702） 3)農業用ポリエチレンフィルム　（JIS K 6781） ②なし
目地部材	材料：①～④の一 ①建築用シーリング材(JIS A 5758)とハット形ジョイナーとの併用 ・目地幅：８～12㎜ ・シーリング材質：1)～6)の一 1)ポリウレタン系樹脂　2)変成ウレタン系樹脂 3)ポリサルファイド系樹脂　4)変成ポリサルファイド系樹脂 5)シリコーン系樹脂　6)変成シリコーン系樹脂 使用量：56ｇ/m以上 ・ジョイナー材質：1)～9)の一 1)溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302） 2)塗装溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3312） 3)溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板（JIS G 3317） 4)塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318) 5)溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板（JIS G 3321） 6)塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322) 7)ポリ塩化ビニル被覆金属板（JIS K 6744） 8)熱間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4304） 9)冷間圧延ステンレス鋼板（JIS G 4305） 厚さ 1)～9)：0.25㎜以上 ②金属ジョイナー（材質:①1)～9)仕様） 形状：H形、厚さ：0.25㎜以上 ③なし：本実、合いじゃくり、突付け目地の場合 ④バックアップ材と建築用シーリング材との併用（サイディング15㎜以上） ・目地幅：８～12㎜ ・バックアップ材質：発泡ポリエチレン又は発泡ポリスチレン 寸法：幅8～12㎜、厚さ3～20㎜ ・シーリング材質：上記①の1)～6)の一とする
目地処理材	材料：①又は② ①気密テープ：材質　1)～4)の一 1)ブチルゴム系　2)ＥＰＤＭゴム系 3)アクリル系　4)アスファルト系 厚さ1.0㎜以下、幅：100㎜以下 ②なし

つづく

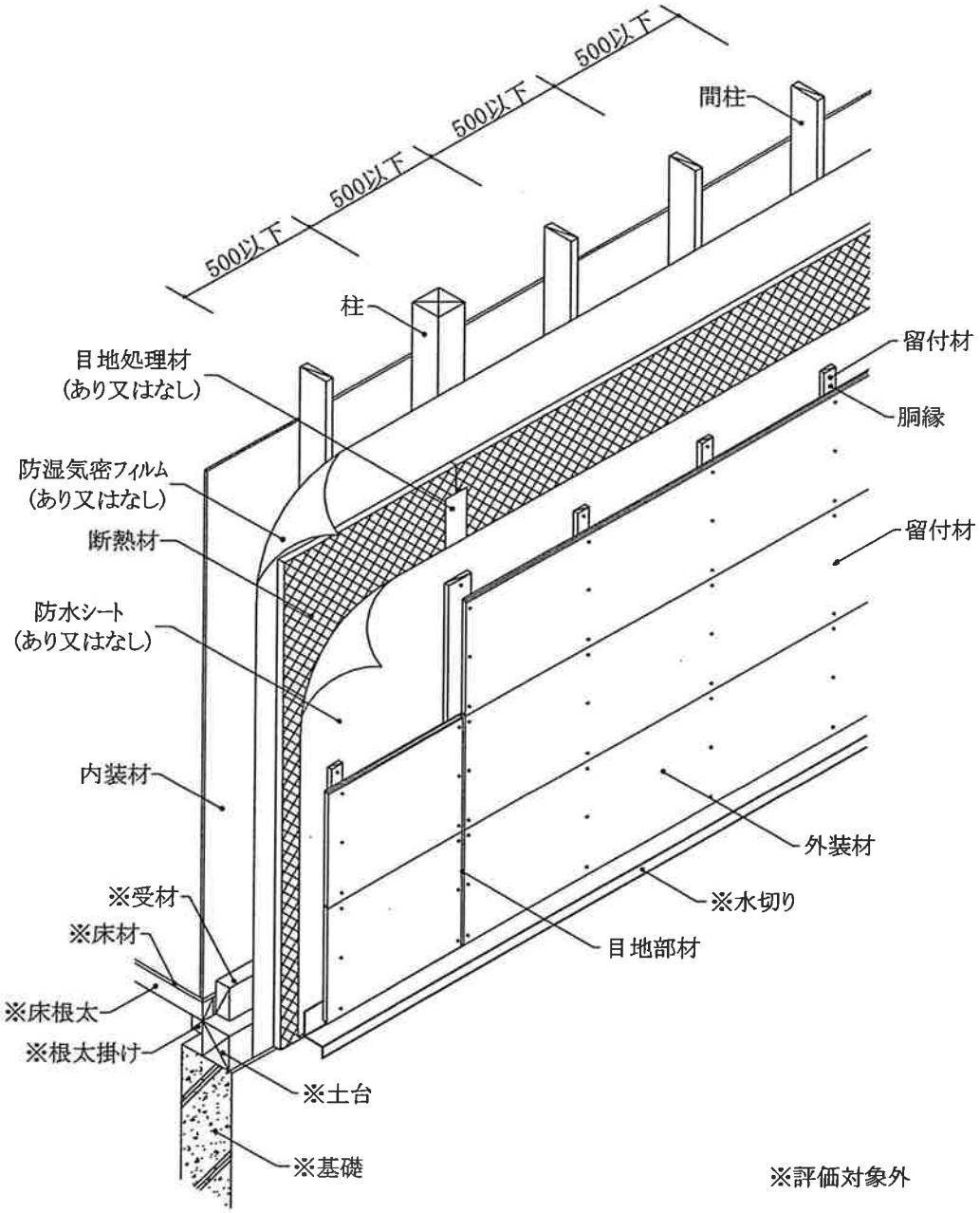
つづき

留付材	外装材固定用： 材料：①、②又は③ ①スクリューくぎ（JIS A 5508）：胴部径φ2.2㎜×長さ38㎜ 以上 ②リングくぎ （JIS A 5508）：胴部径φ2.2㎜×長さ38㎜ 以上 ③タッピンねじ（JIS B 1122）：呼び径φ3×長さ25㎜ 以上 留付間隔：303㎜以下 留付位置：板端部より20㎜以上内側とする くぎ打込み深さ：26㎜以上
	胴縁固定用： 材料：①又は② ①鉄丸くぎ（JIS A 5508）：N75 以上 ②断熱パネルビス：材質 1)又は2) 1)冷間圧造用炭素鋼線 （JIS G 3539） 2)冷間圧造用ステンレス鋼線（JIS G 4315） 胴部径φ6㎜×長さ100㎜ 以上 留付間隔：500㎜以下 くぎ打込み深さ：42㎜以上
	内装材固定用： 材料：①、②又は③ ①せっこうボード用くぎ（JIS A 5508）：GN-40以上 ②十字穴付き木ねじ（JIS B 1112）：呼び径φ3.1×長さ25㎜以上 ③ドリリングタッピンねじ（JIS B 1125）：呼び径φ3.9×長さ25㎜以上 留付間隔：周辺部150㎜以下、中間部200㎜以下
	構造用面材固定用：(構造用面材を使用する場合) 材質：①、②又は③ ①鉄丸くぎ（JIS A 5508）：N50以上 (構造用合板、構造用パネル、パーティクルボード、ハードボード、 硬質木片セメント板、火山性ガラス質複層板を使用する場合) 留付間隔：150㎜以下 ②せっこうボード用くぎ(JIS A 5508)：GN-40以上 (フレキシブル板、けい酸カルシウム板、パルプセメント板、 せっこうボードを使用する場合) 留付間隔：150㎜以下 ③シージングインシュレーションファイバーボード用くぎ（JIS A 5508）： SN-40以上 (シージングボード、ミディアムデンシティファイバーボード 積層繊維板を使用する場合) 留付間隔：周辺部100㎜以下、中間部200㎜以下
	断熱材固定用(仮留)： 鉄丸くぎ（JIS A 5508）：N25以上
	防水シート・防湿気密フィルム固定用: 材料：①又は② ①工業用ステープル（JIS A 5556） 材質：1)又は2) 1)ステンレス鋼線（材質:JIS G 4309） 2)鉄線（材質:JIS G 3532） 寸法：内幅9.6㎜以上、足長10㎜以上 ②鉄丸くぎ（JIS A 5508）：N19以上
パテ	せっこう系パテ 塗布量：140g/㎡以上

5. 申請仕様の構造説明図：
申請仕様の構造説明図を図1～図34に示す。

単位 mm

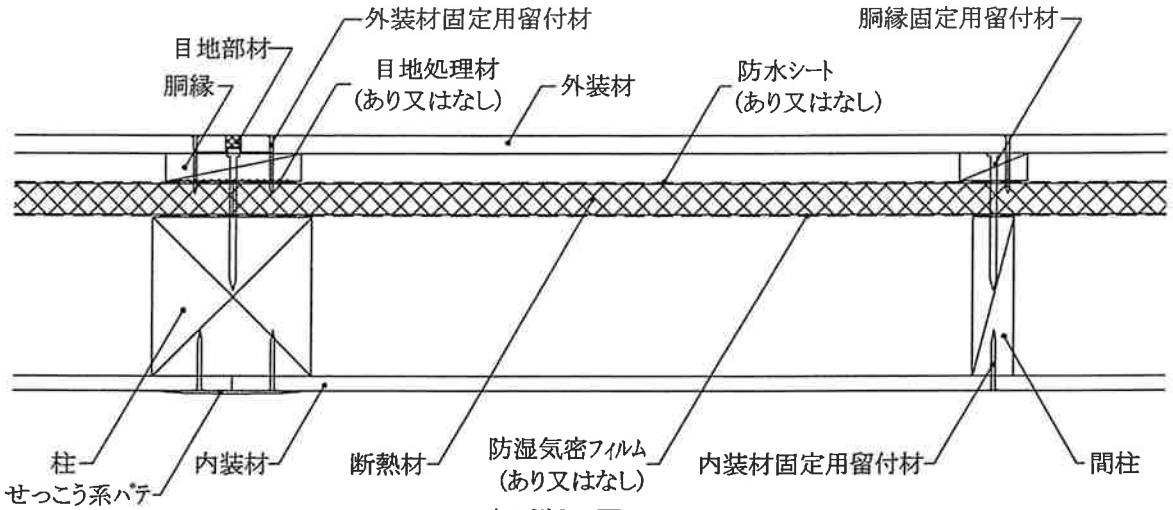
外装材横張／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



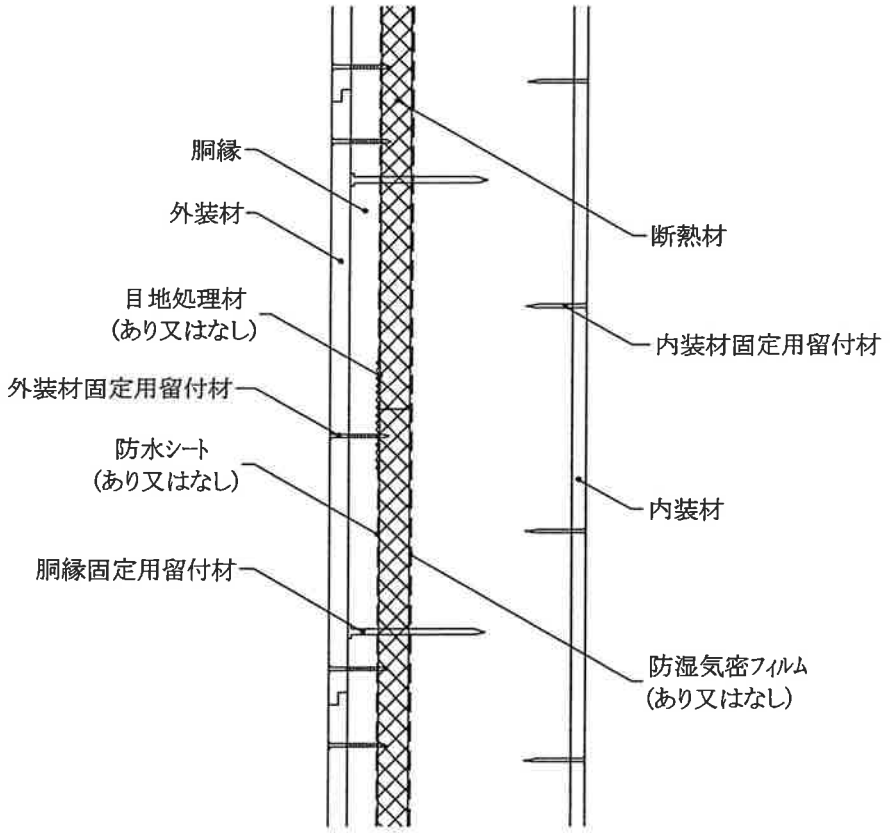
透視図

図1　構造説明図

外装材横張／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



水平断面図

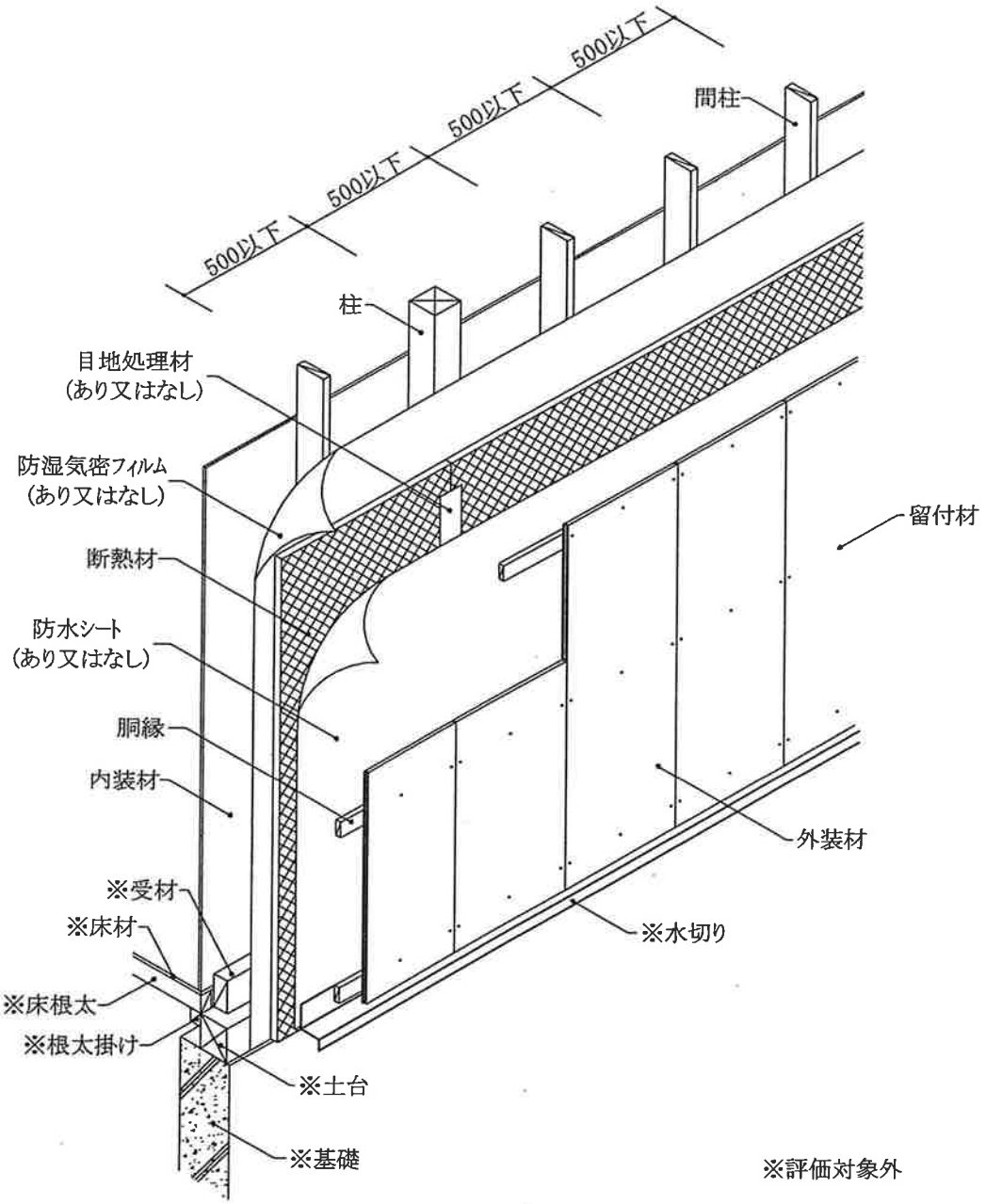


鉛直断面図

図2　構造説明図

単位 mm

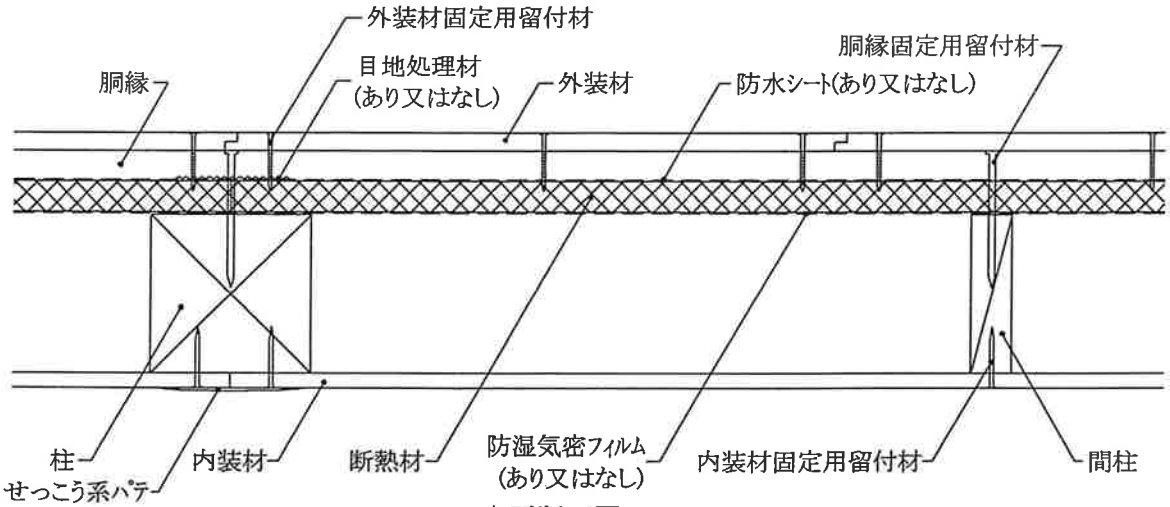
外装材縦張（横胴縁）／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



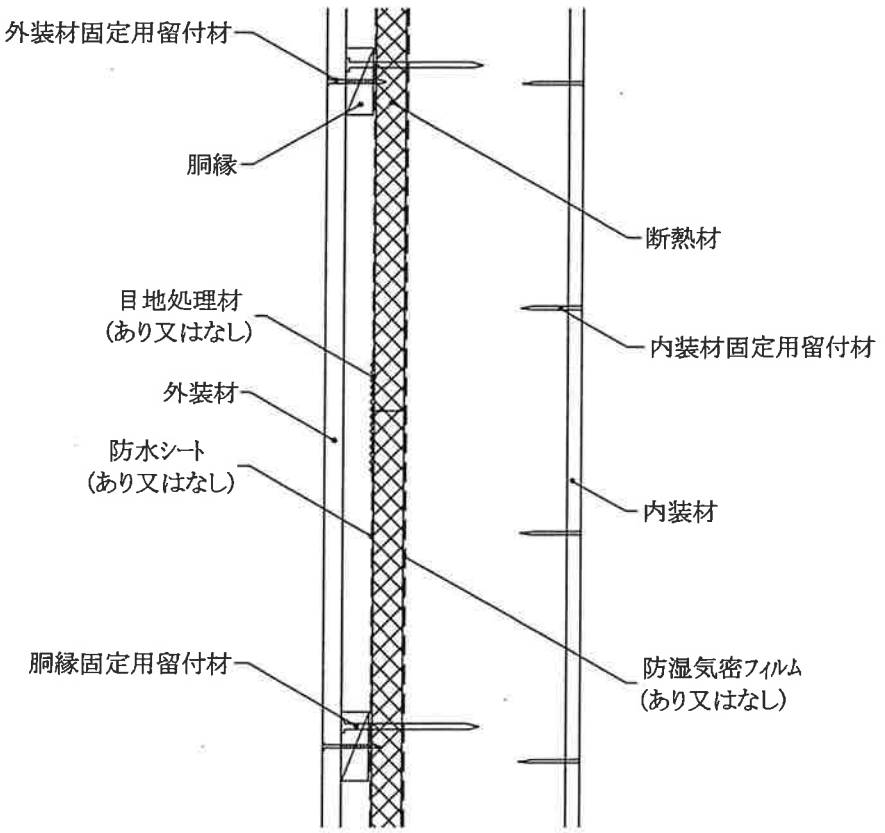
透視図

図3　構造説明図

外装材縦張（横胴縁）／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



水平断面図

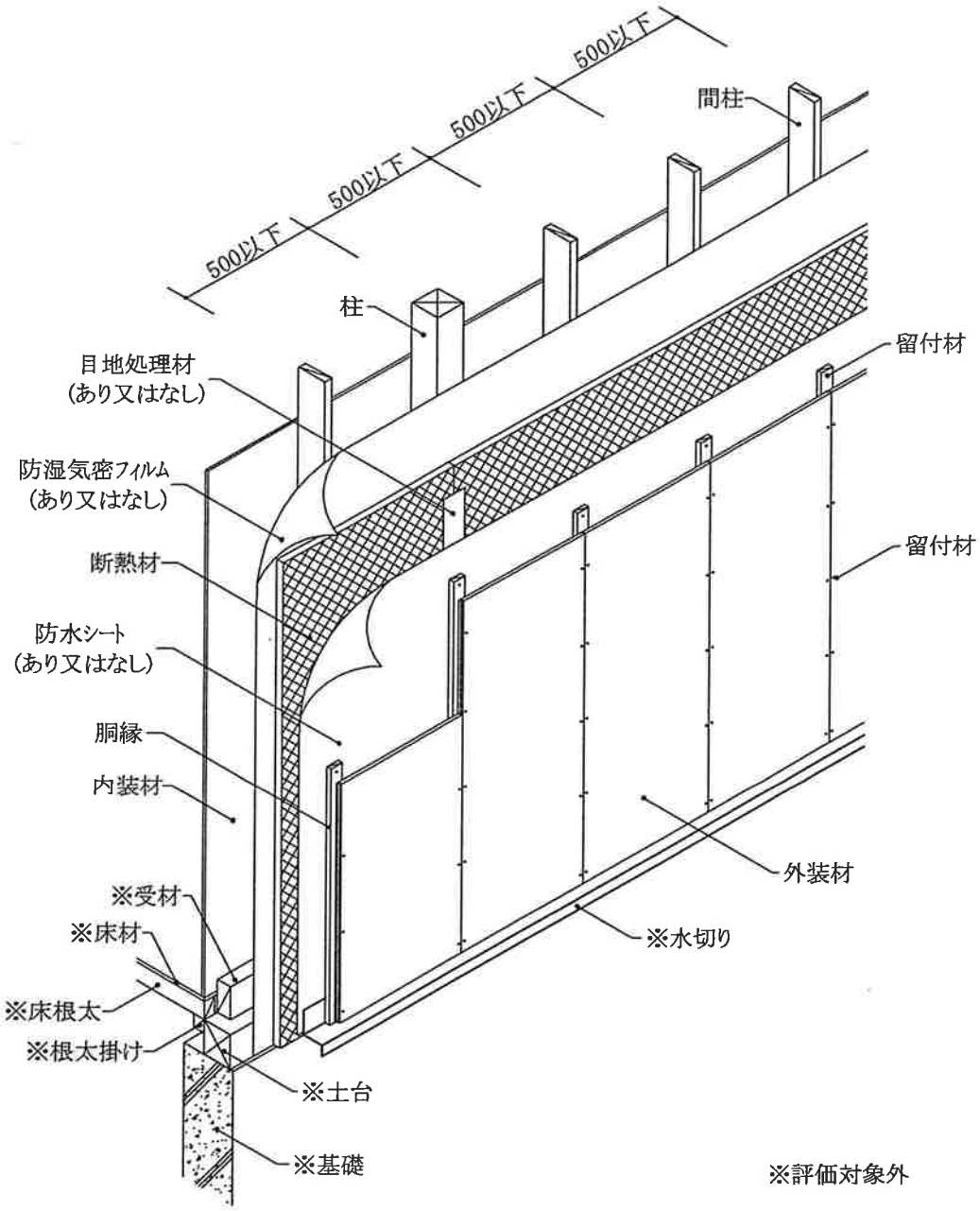


鉛直断面図

図4　構造説明図

単位 mm

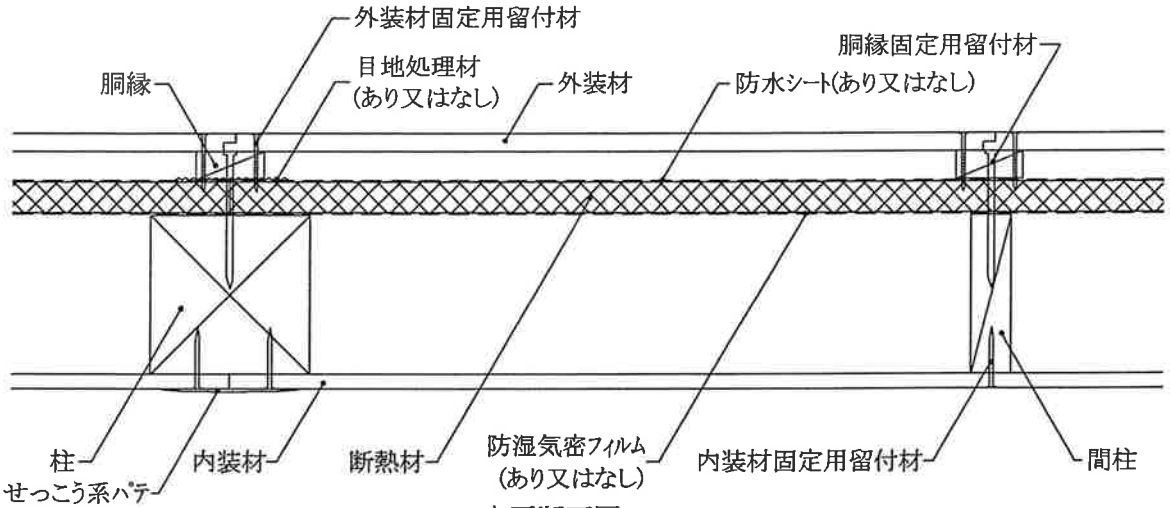
外装材縦張（縦胴縁）／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



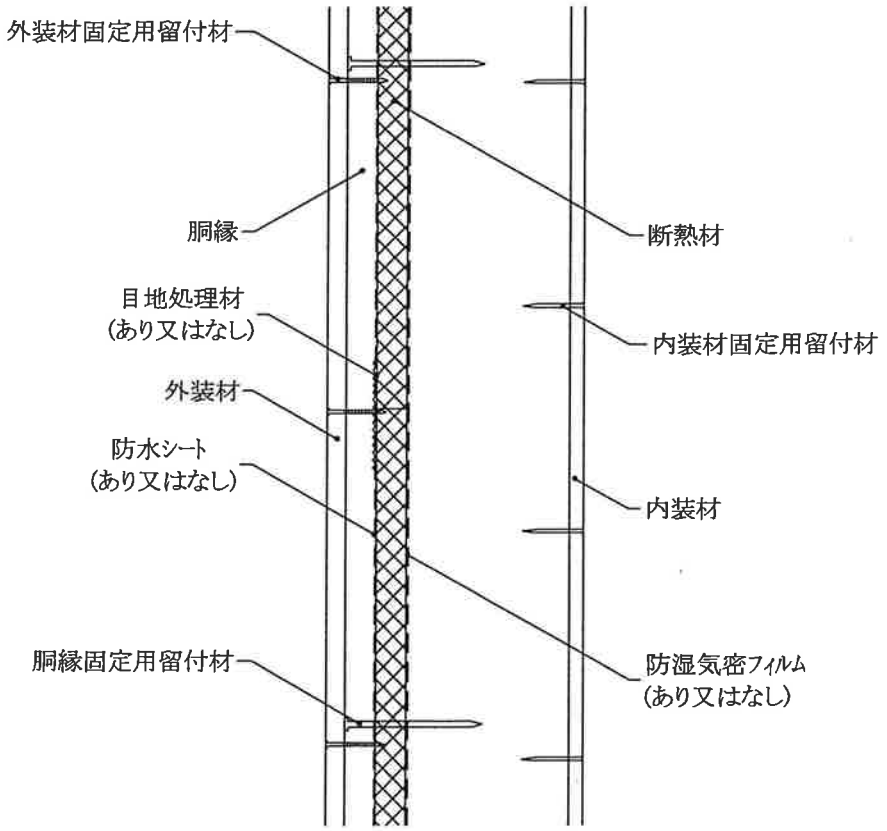
透視図

図5　構造説明図

外装材縦張（縦胴縁）／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



水平断面図

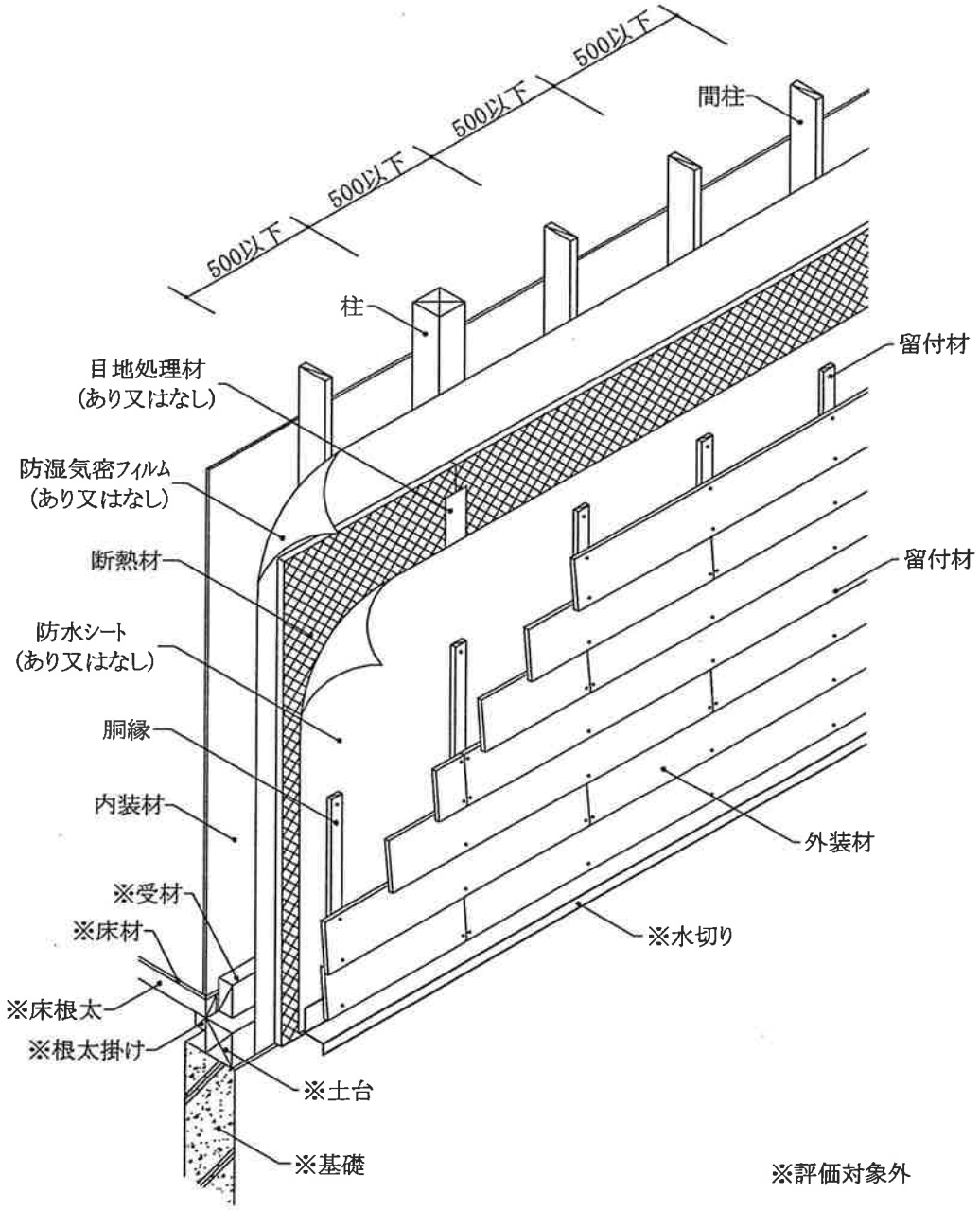


鉛直断面図

図6　構造説明図

単位 mm

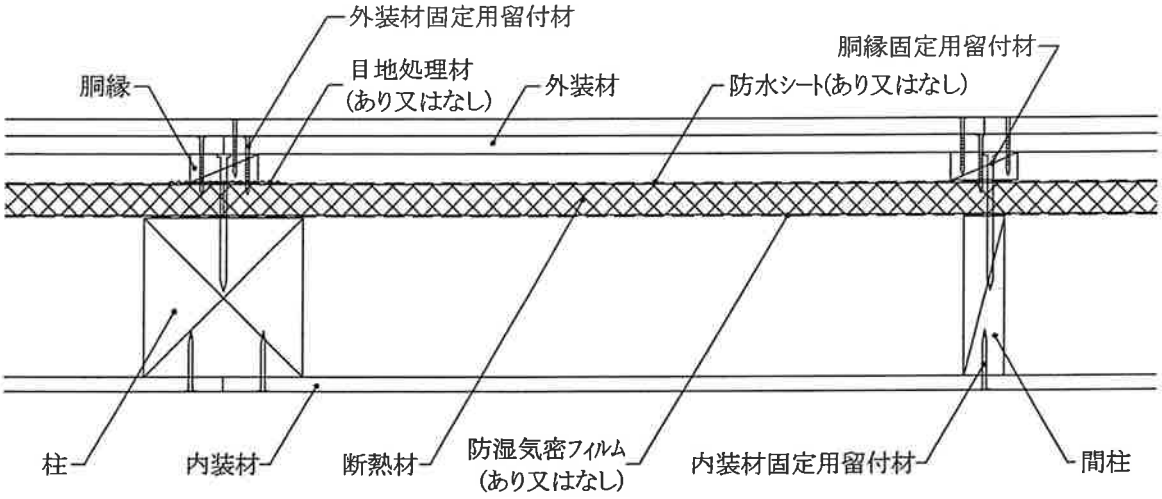
外装材重張／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



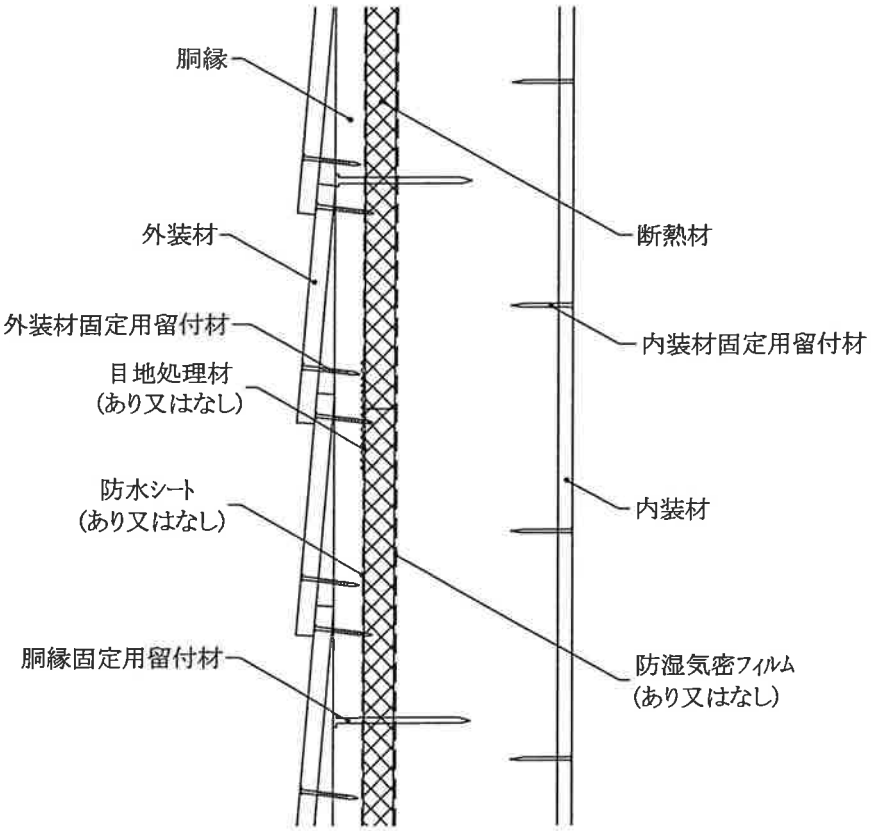
透視図

図7　構造説明図

外装材重張／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



水平断面図

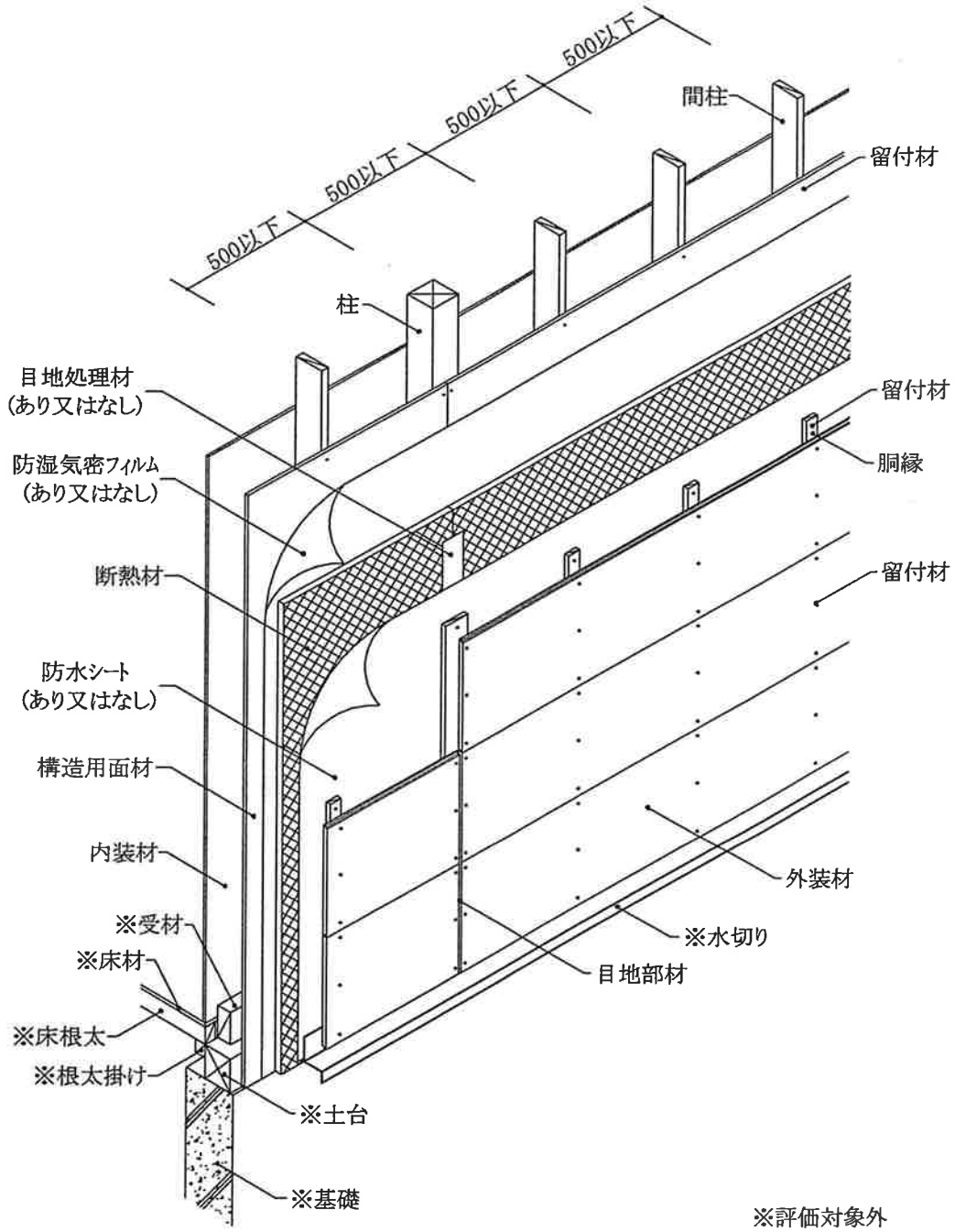


鉛直断面図

図8　構造説明図

単位 mm

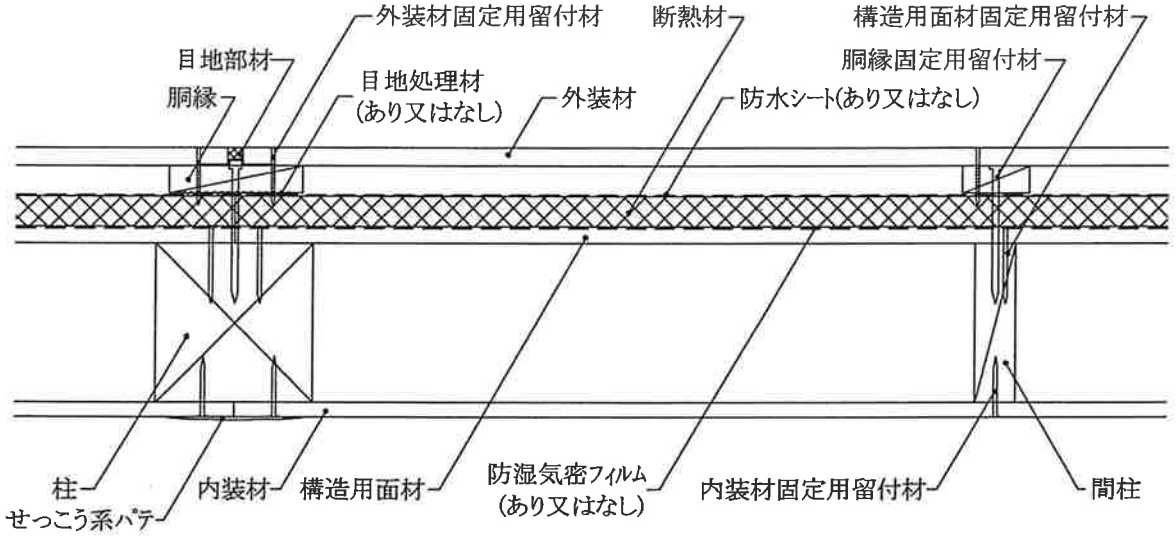
外装材横張／断熱材張／構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



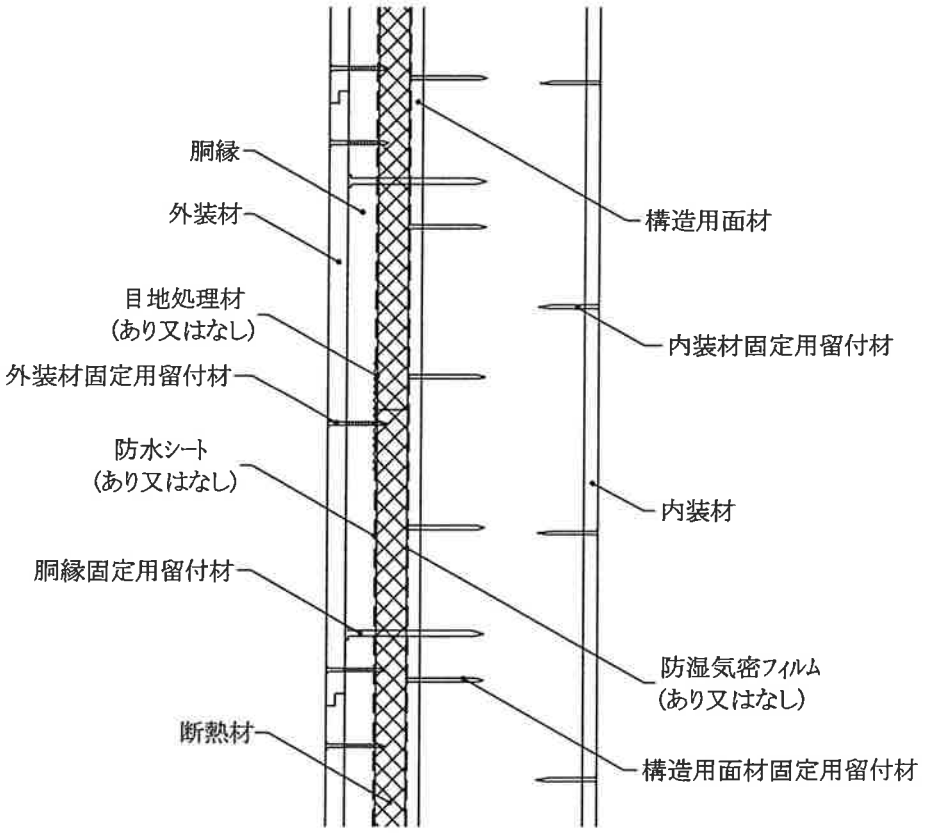
透視図

図9　構造説明図

外装材横張／断熱材張／構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



水平断面図

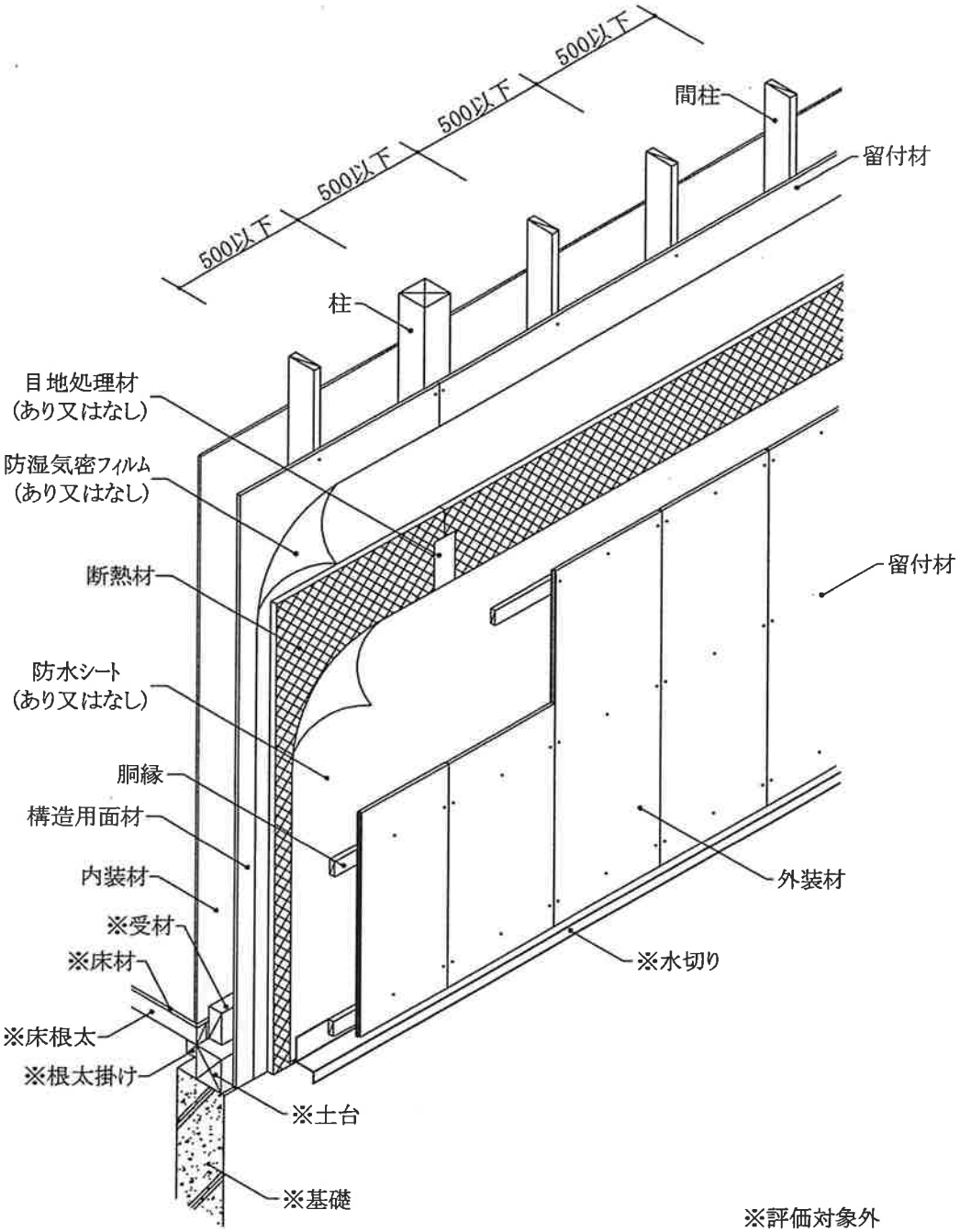


鉛直断面図

図10　構造説明図

単位 mm

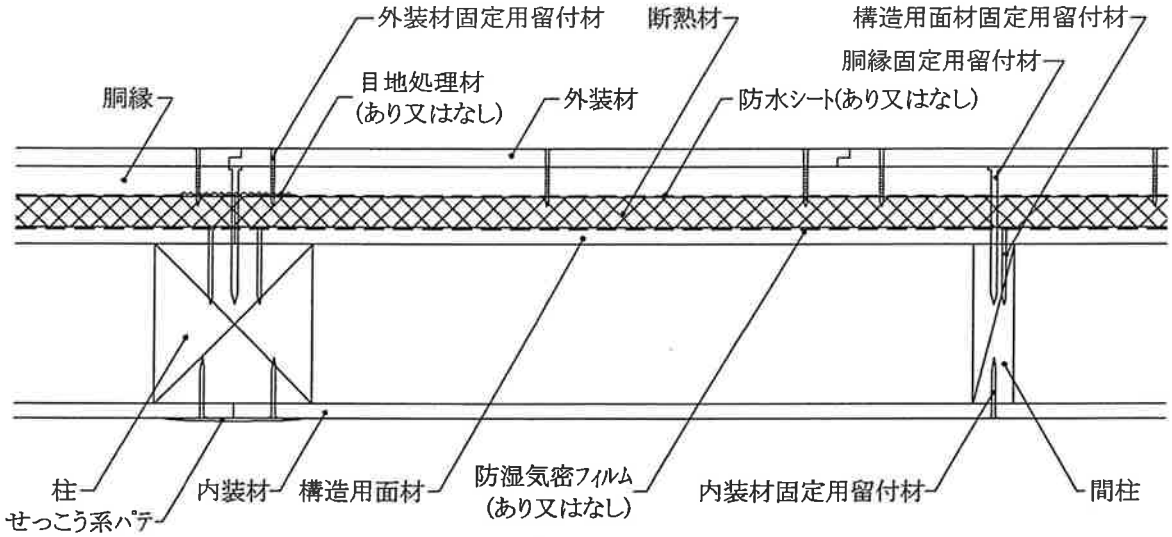
外装材縦張（横胴縁）／断熱材張／構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



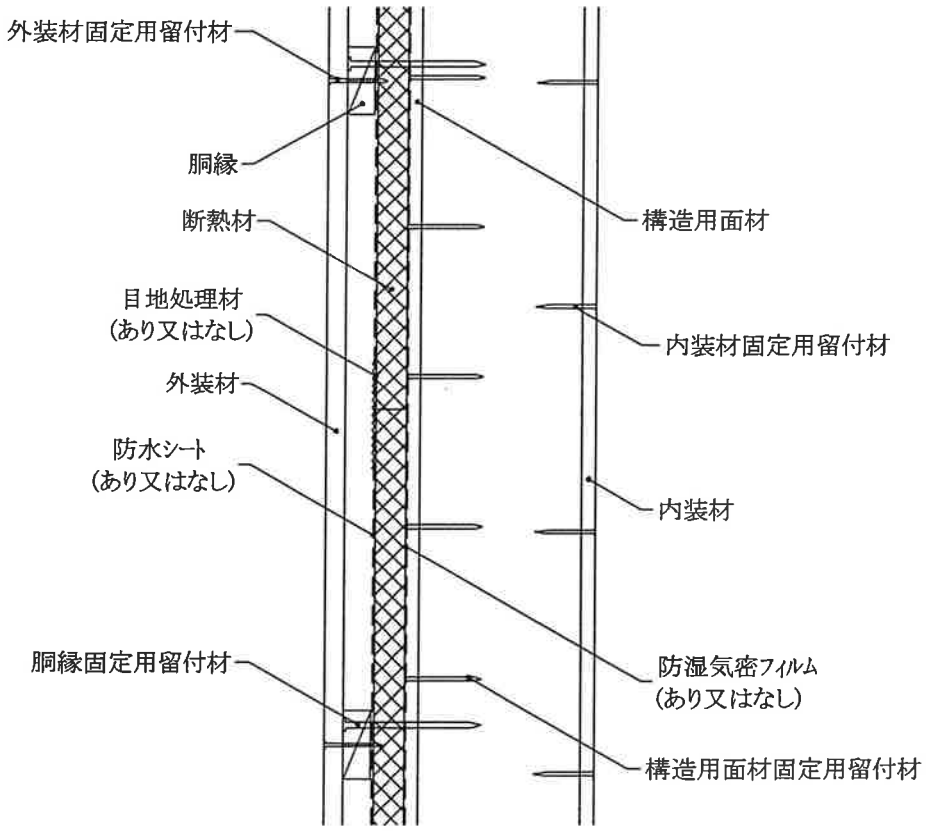
透視図

図11　構造説明図

外装材縦張（横胴縁）／断熱材張／構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



水平断面図

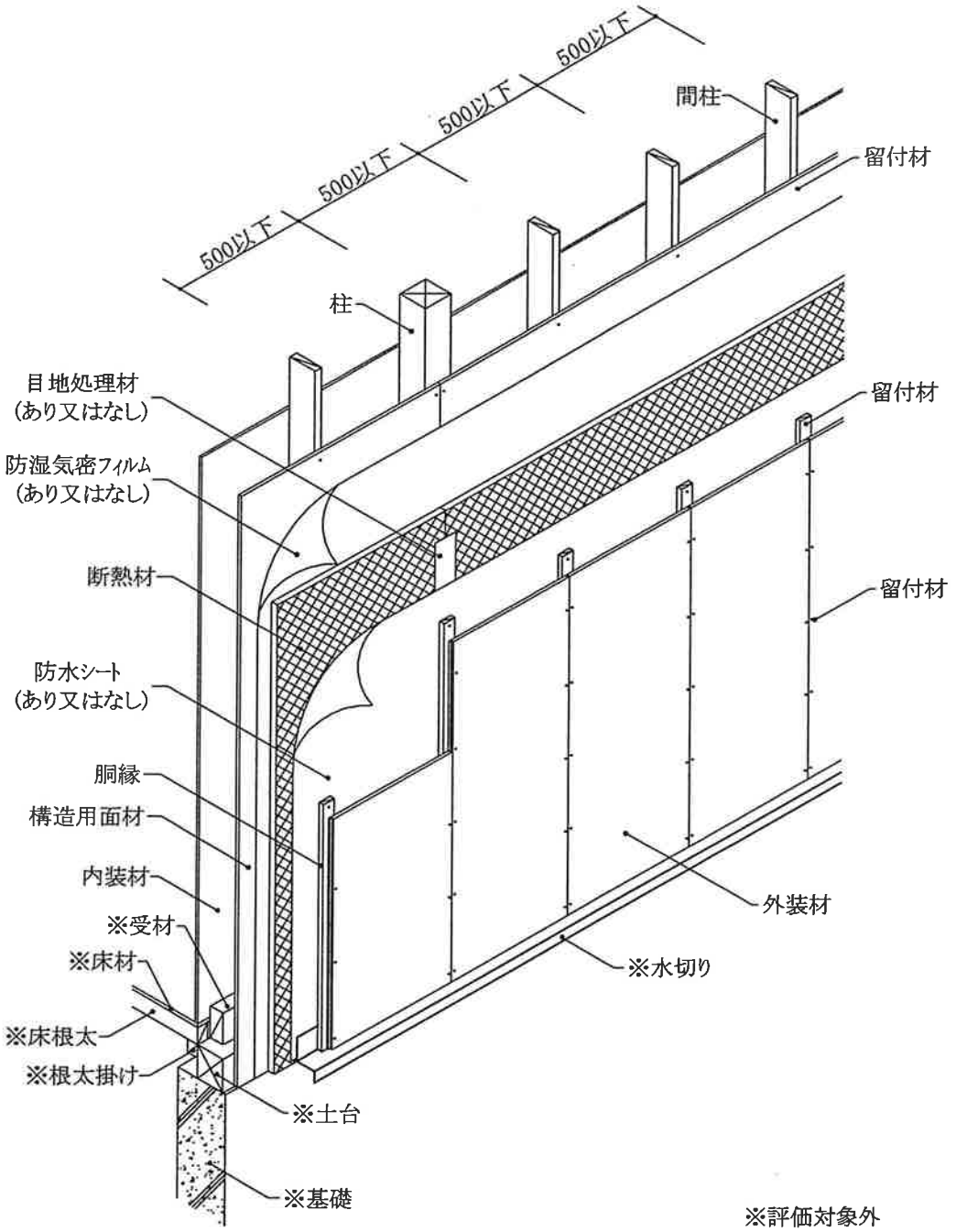


鉛直断面図

図12　構造説明図

単位 mm

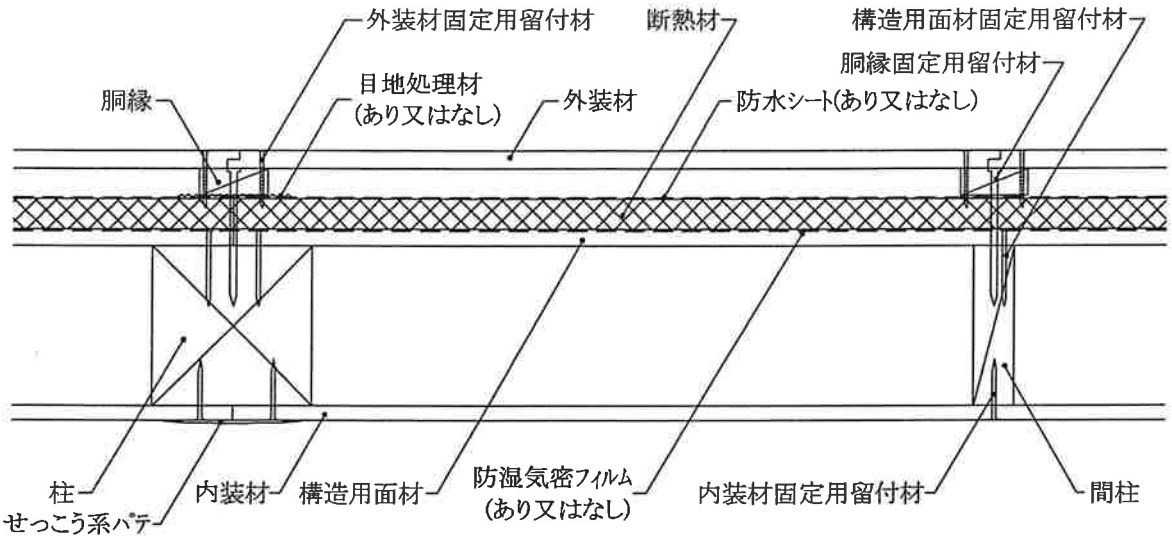
外装材縦張（縦胴縁）／断熱材張／構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



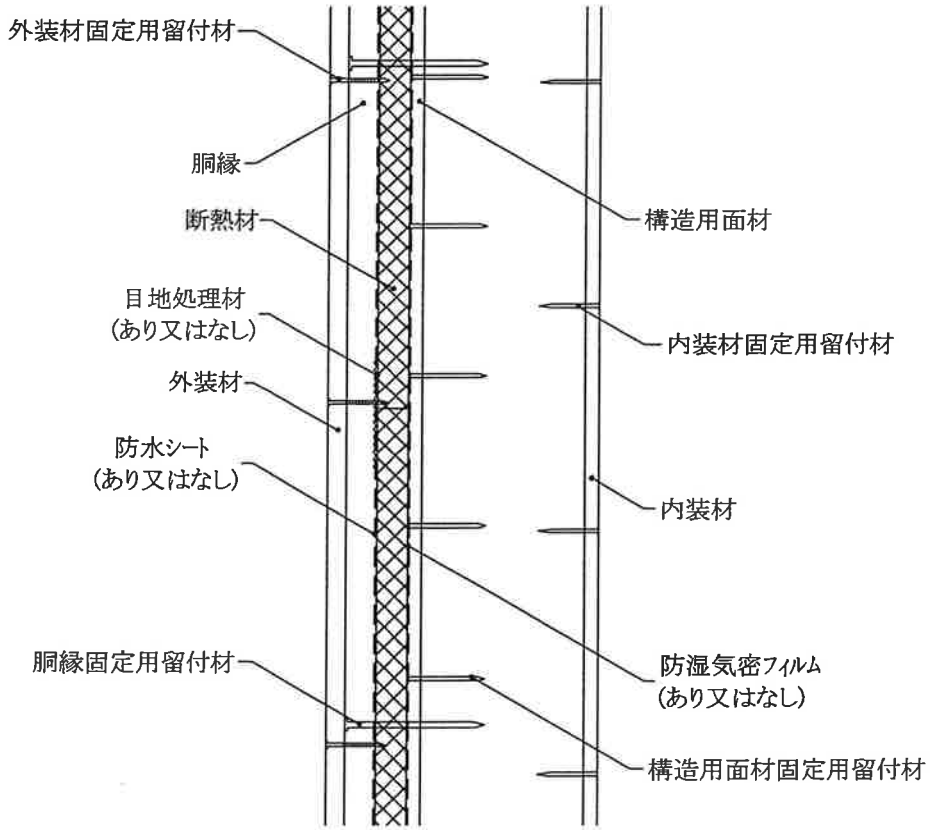
透視図

図13　構造説明図

外装材縦張（縦胴縁）／断熱材張／構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



水平断面図

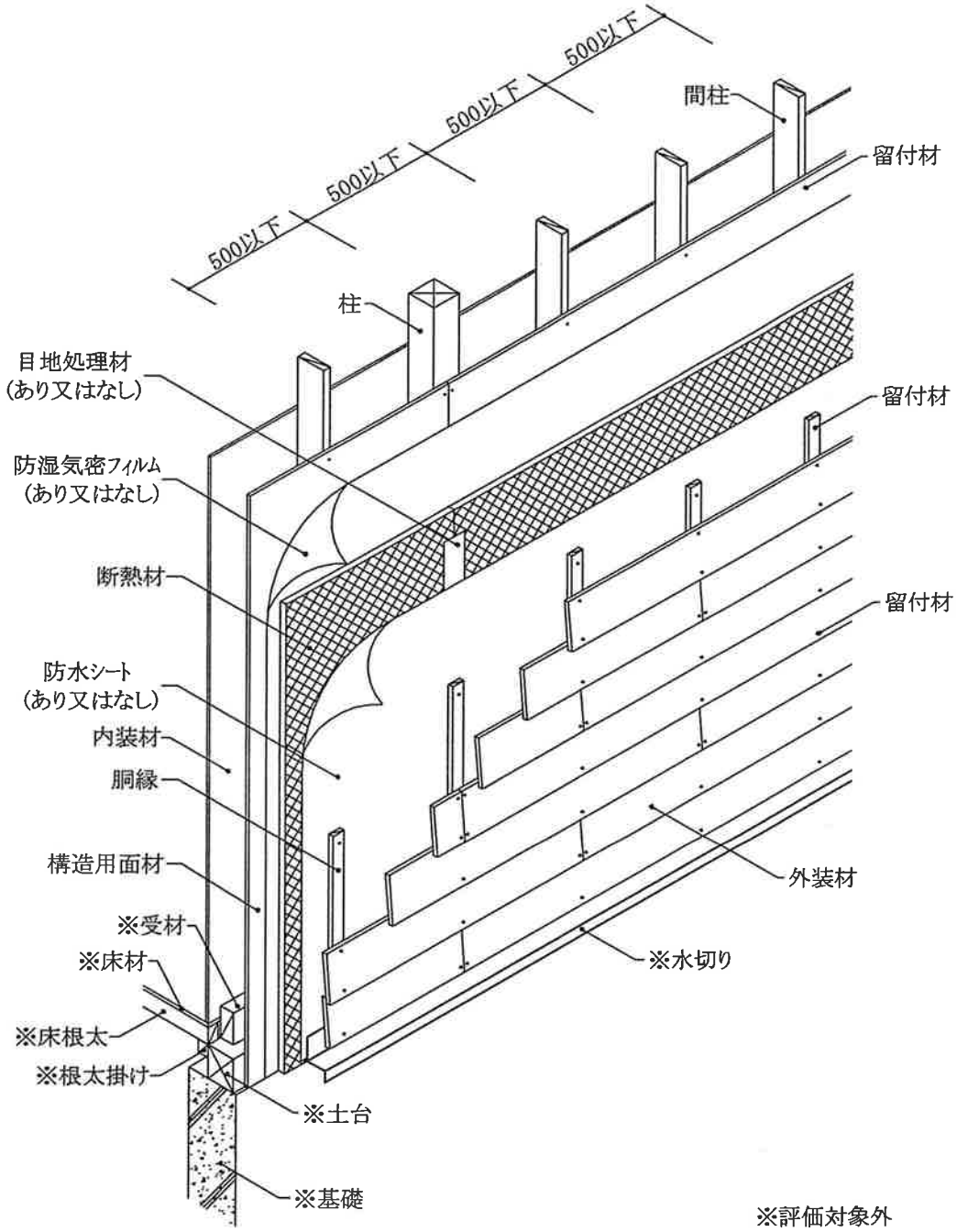


鉛直断面図

図14　構造説明図

単位 mm

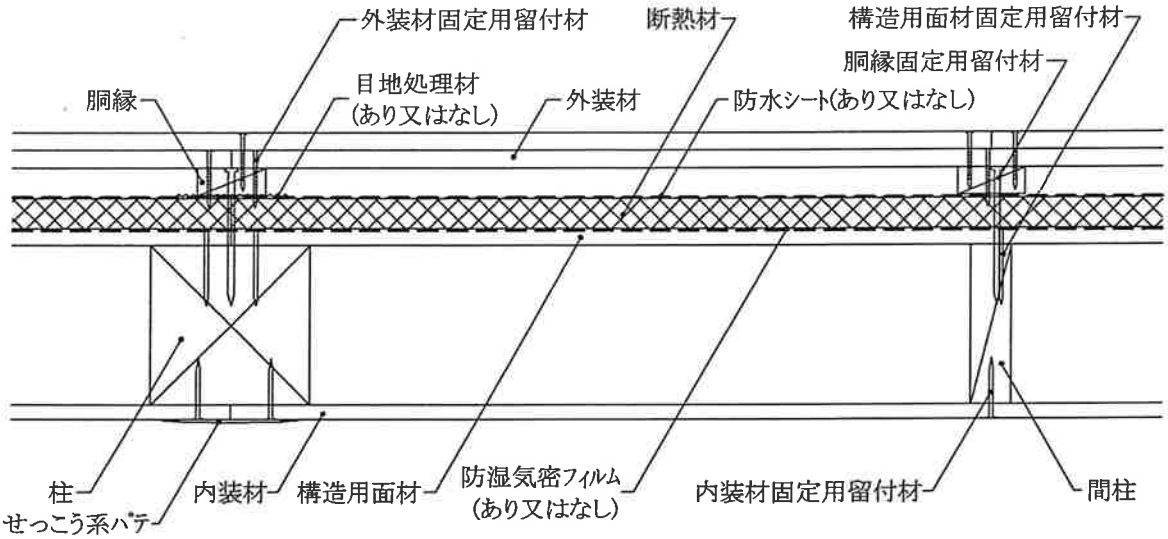
外装材重張／断熱材張／構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



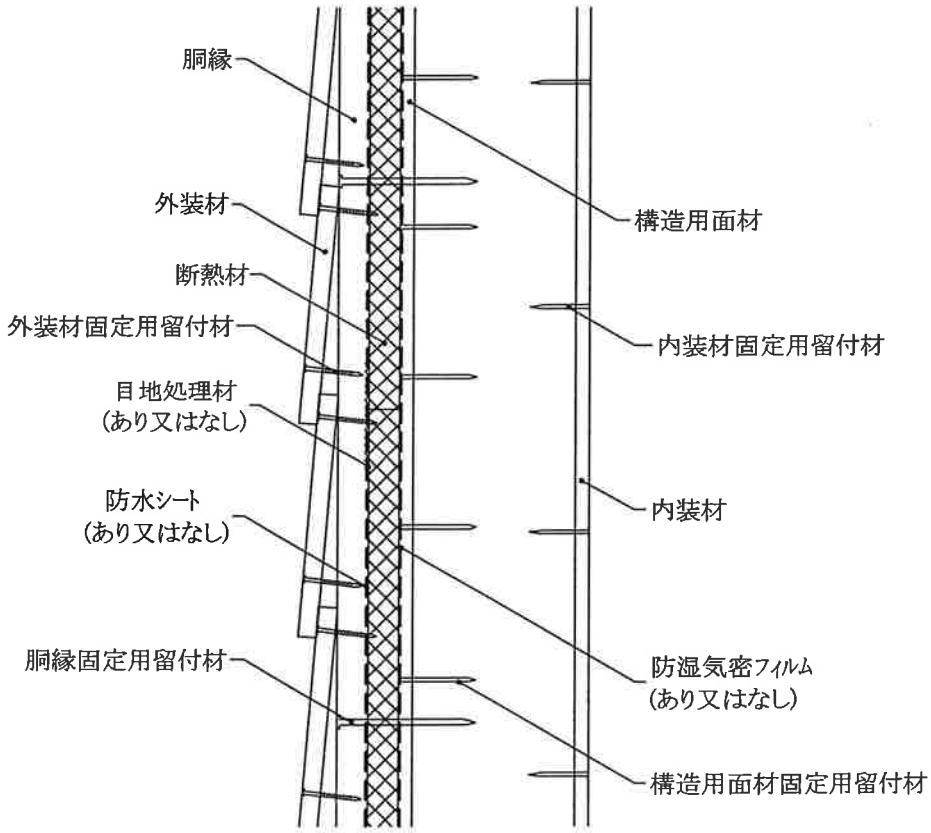
透視図

図15　構造説明図

外装材重張／断熱材張／構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



水平断面図

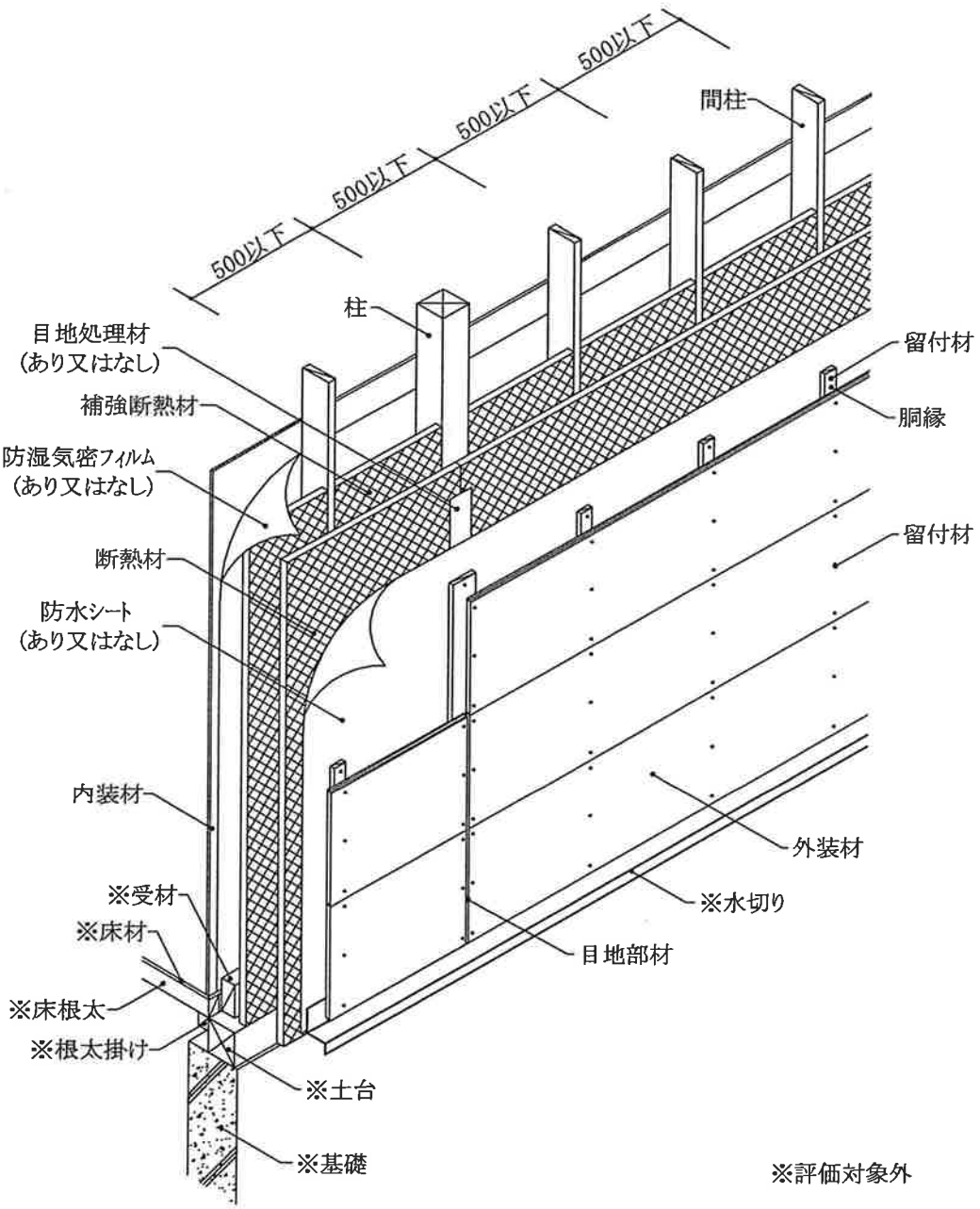


鉛直断面図

図16　構造説明図

単位 mm

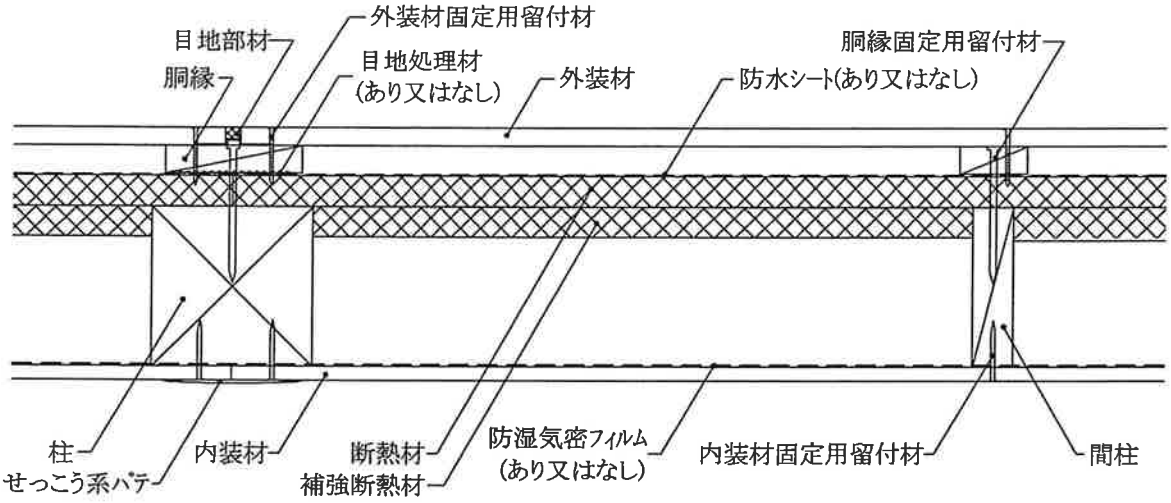
補強断熱材充てん／外装材横張／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



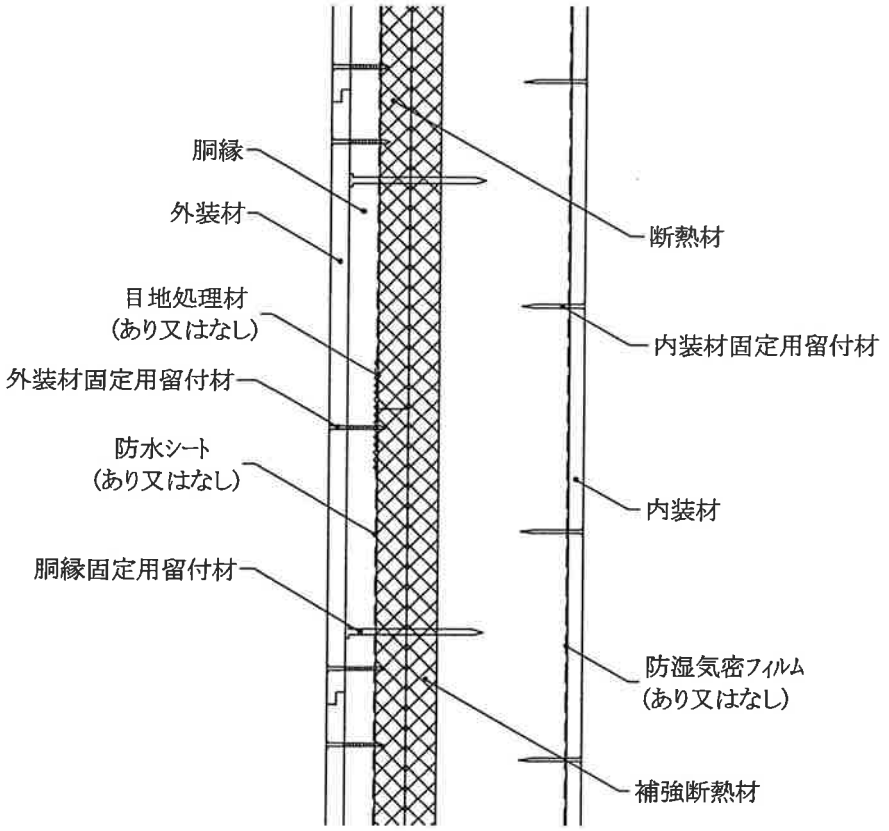
透視図

図17　構造説明図

補強断熱材充てん／外装材横張／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



水平断面図

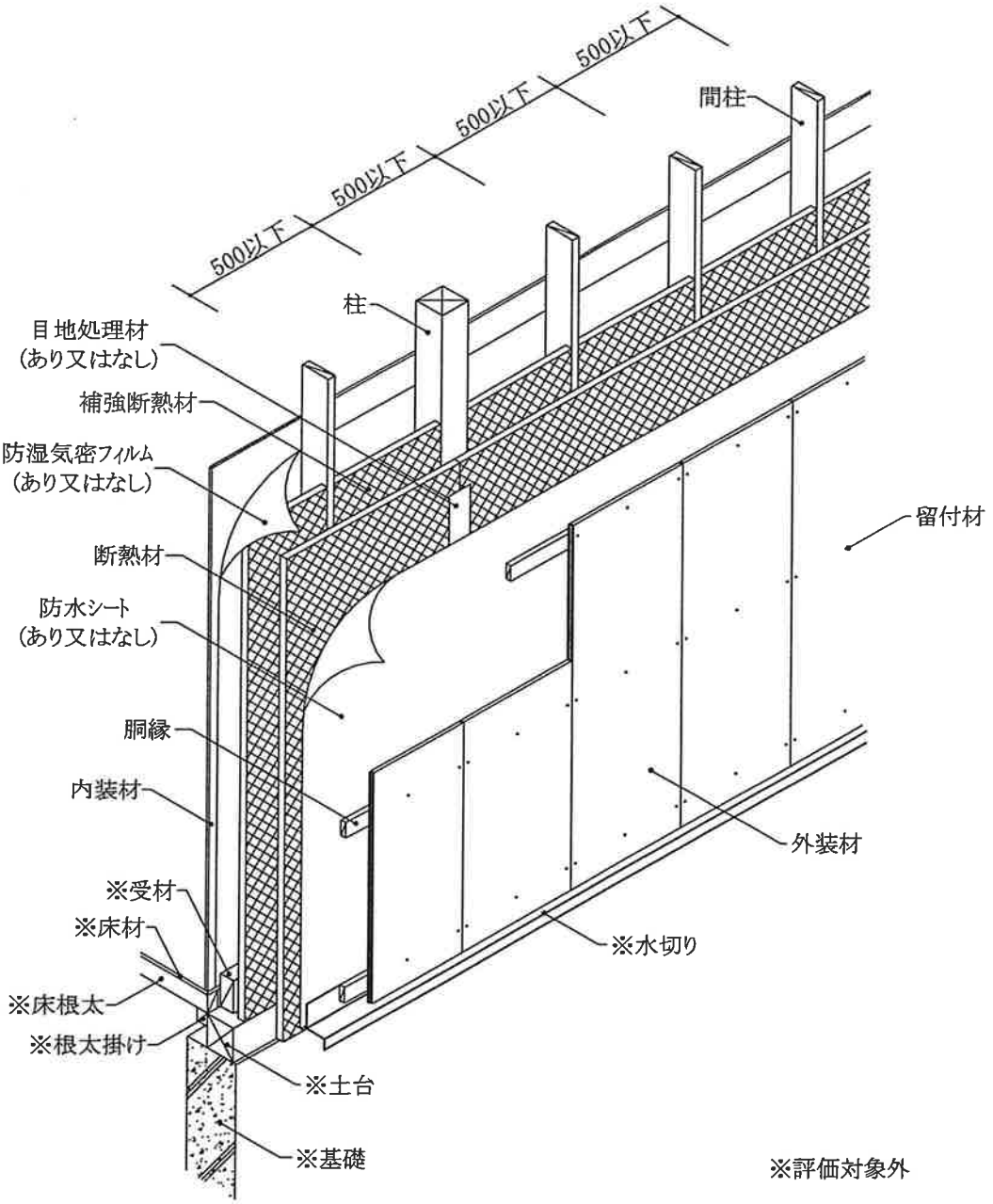


鉛直断面図

図18　構造説明図

単位 mm

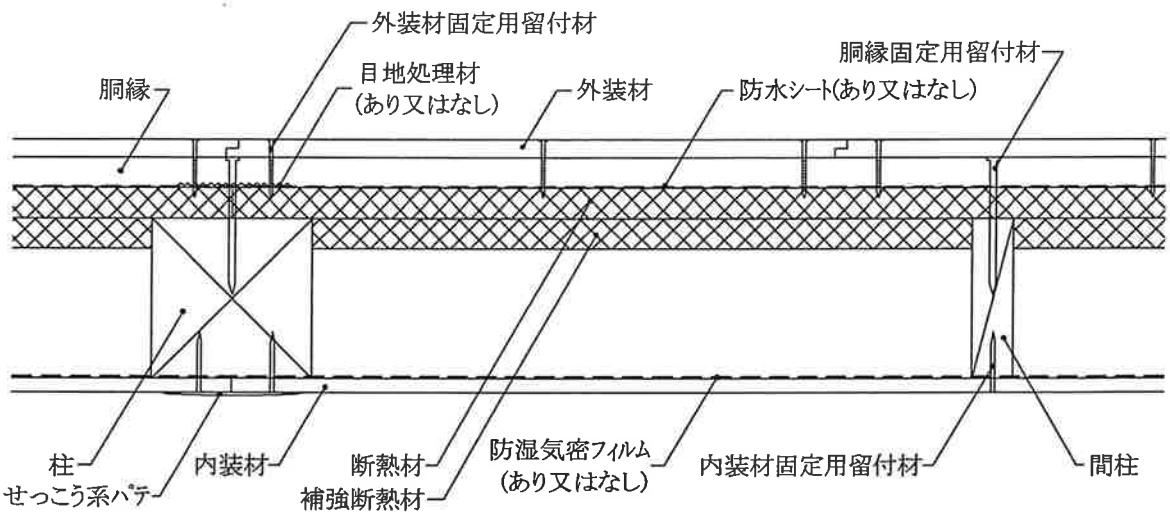
補強断熱材充てん／外装材縦張（横胴縁）／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



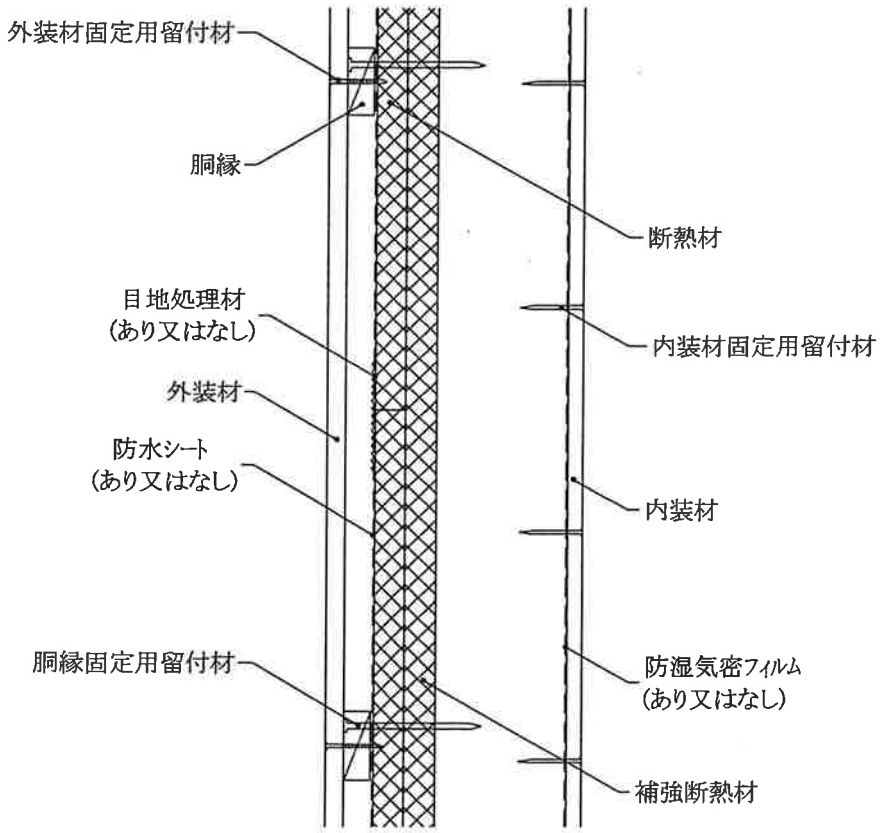
透視図

図19　構造説明図

補強断熱材充てん／外装材縦張（横胴縁）／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



水平断面図

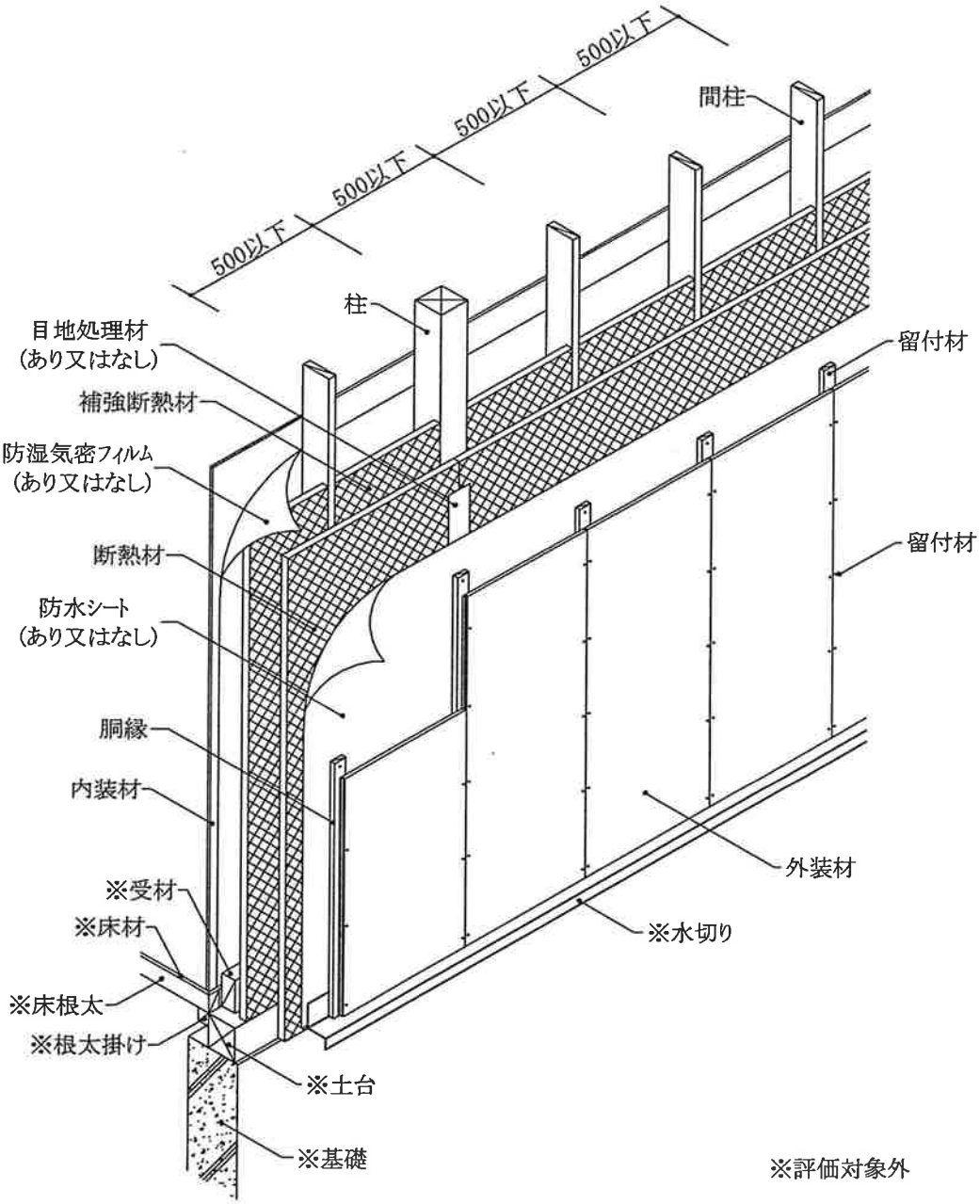


鉛直断面図

図20　構造説明図

単位 mm

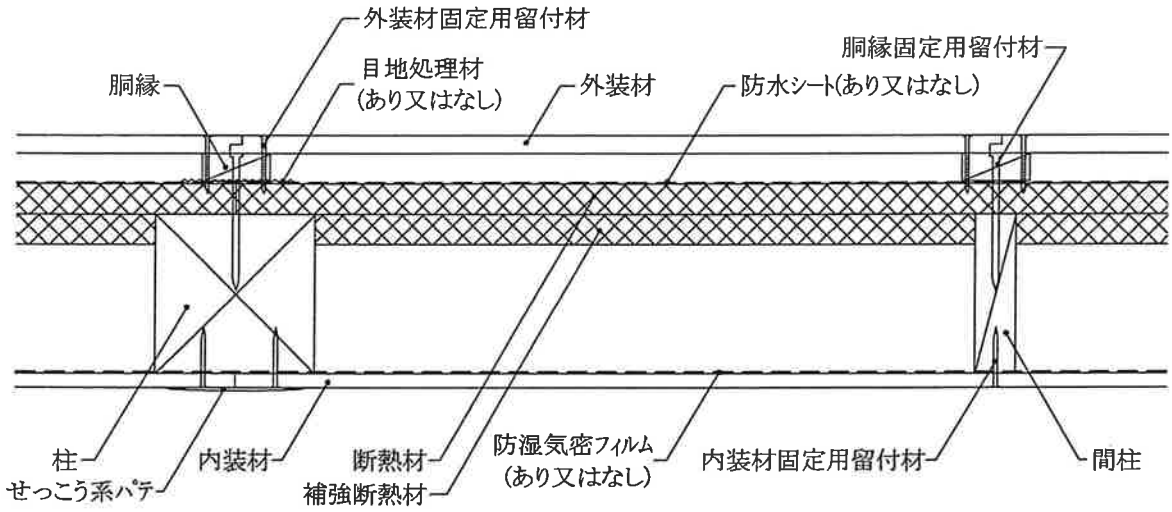
補強断熱材充てん／外装材縦張（縦胴縁）／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



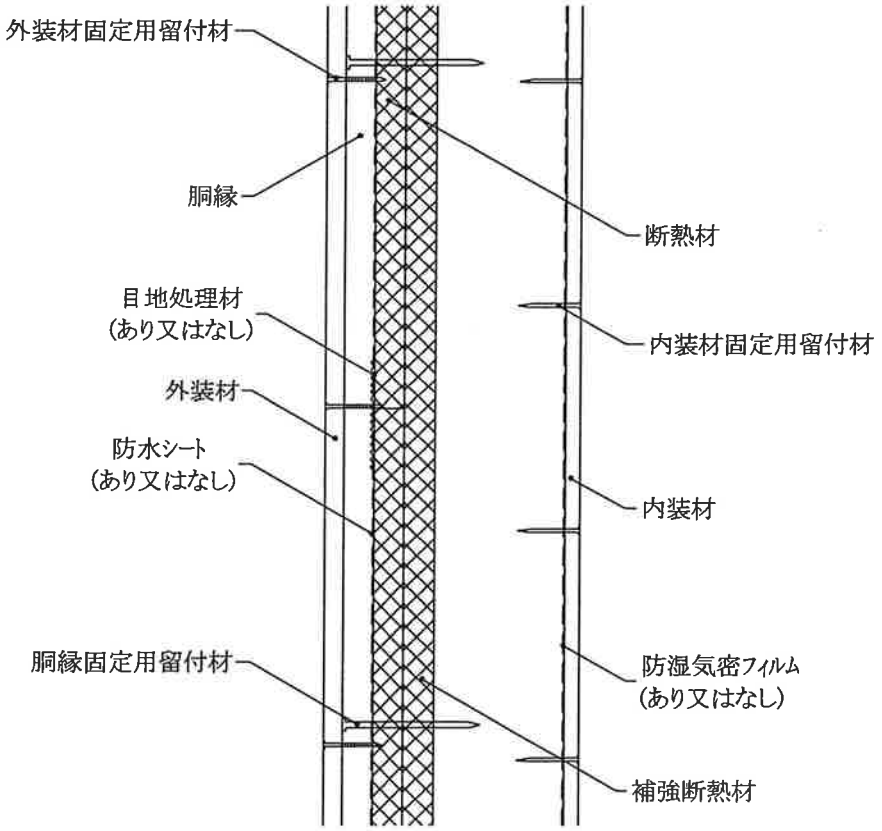
透視図

図21　構造説明図

補強断熱材充てん／外装材縦張（縦胴縁）／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



水平断面図

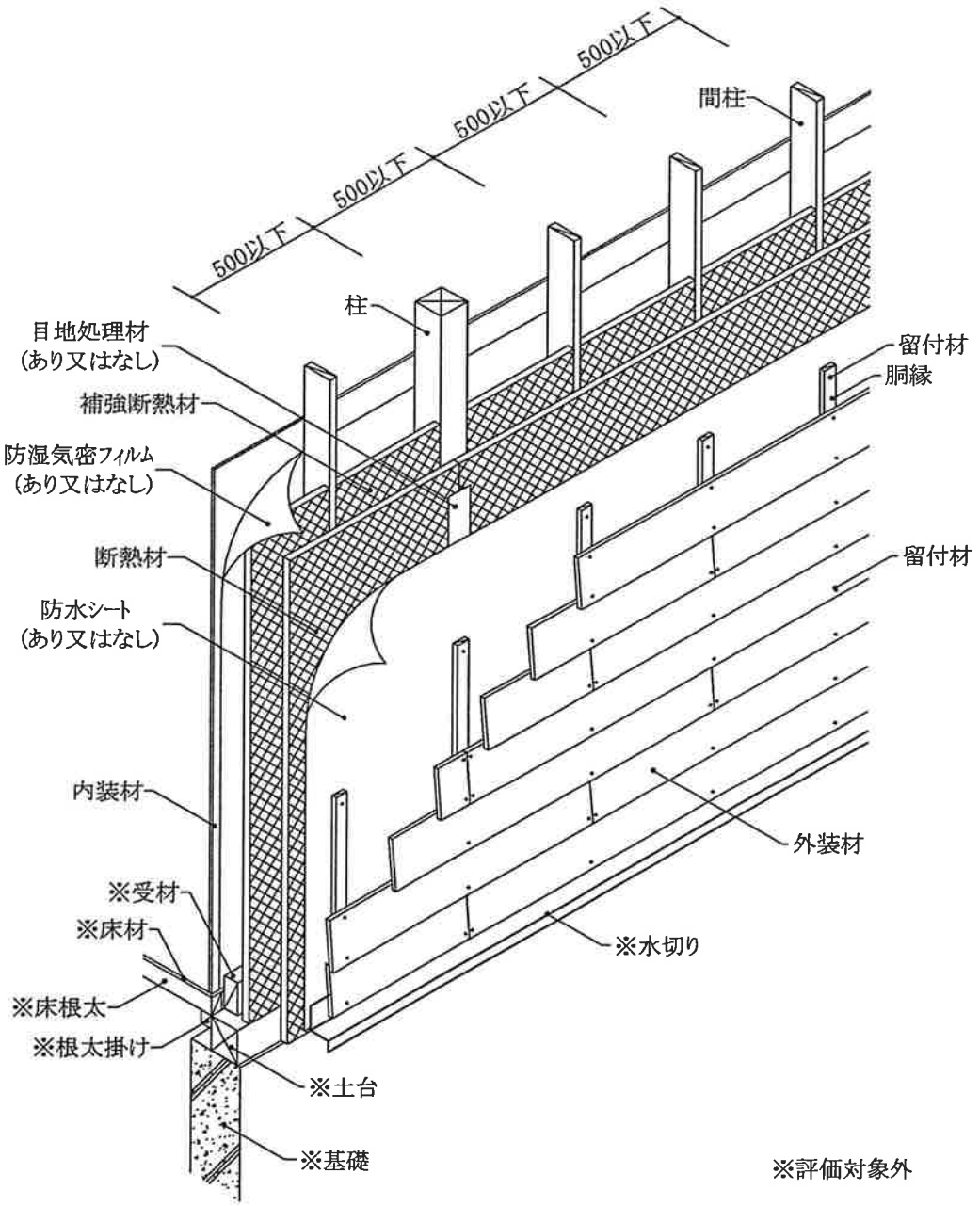


鉛直断面図

図22　構造説明図

単位 mm

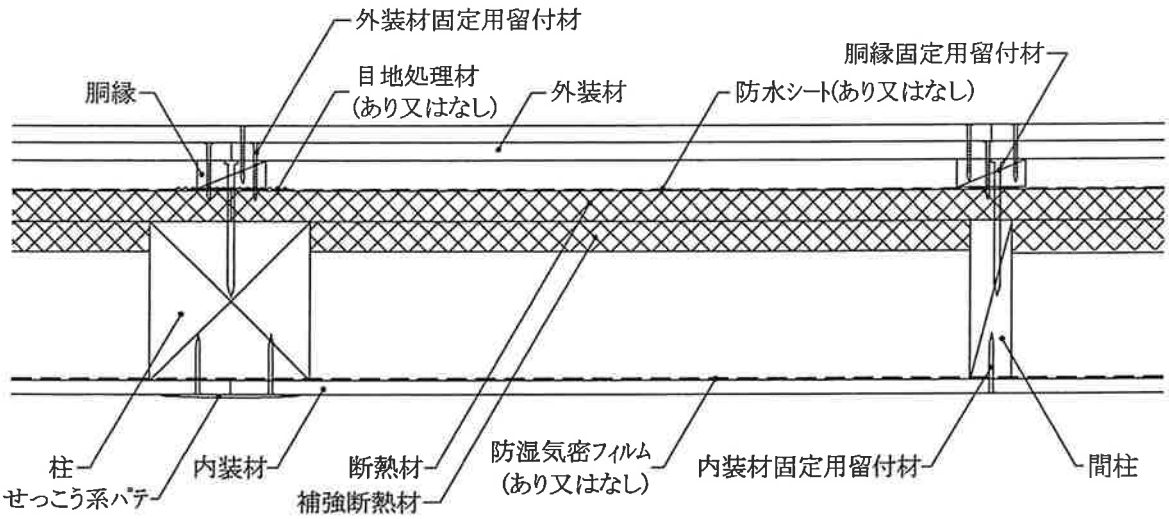
補強断熱材充てん／外装材重張／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



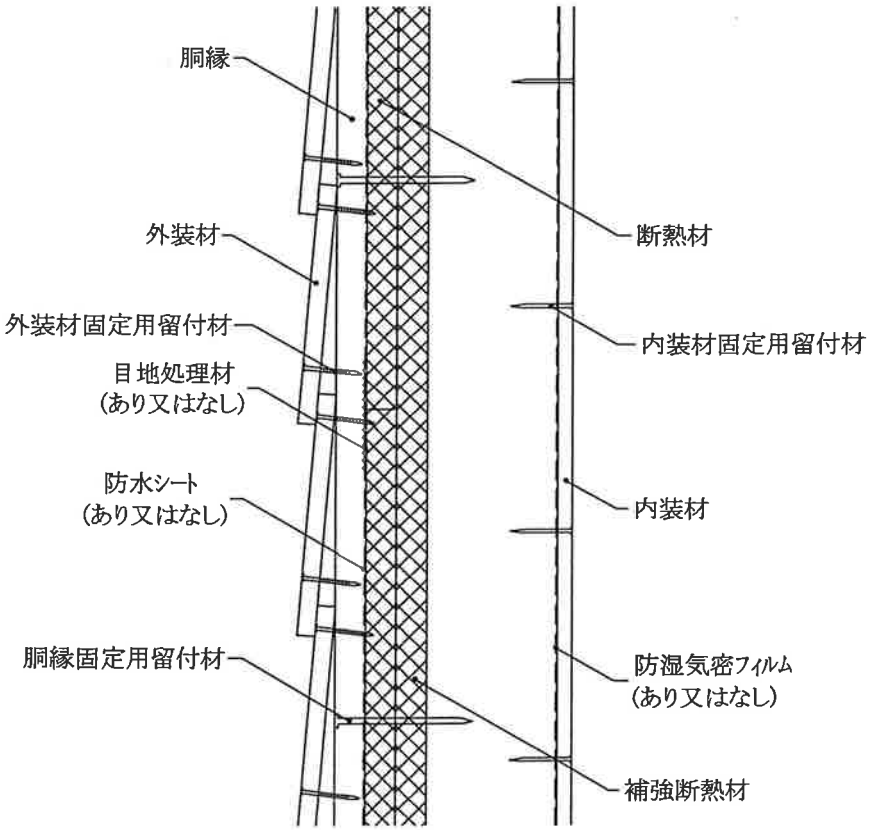
透視図

図23 構造説明図

補強断熱材充てん／外装材重張／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



水平断面図

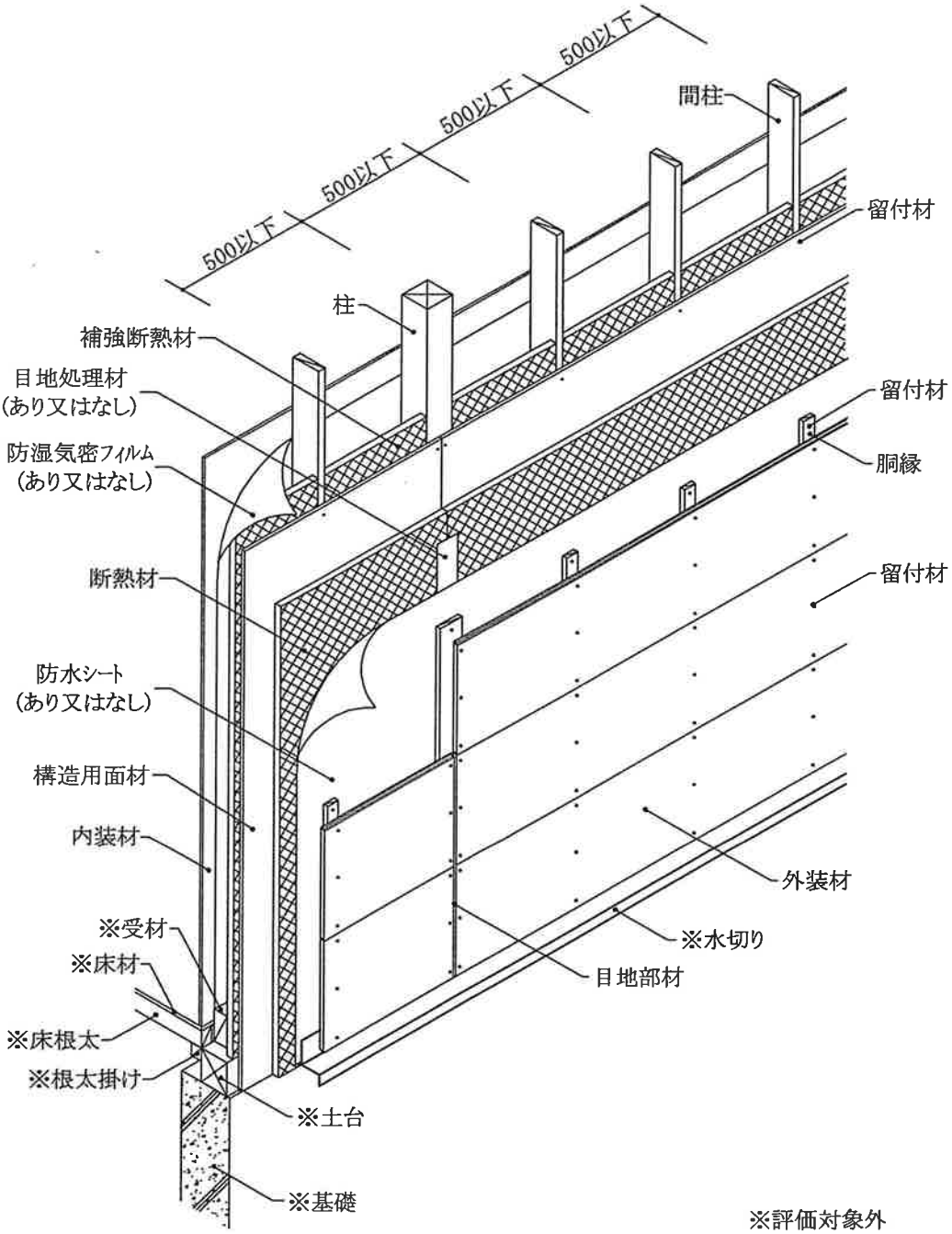


鉛直断面図

図24　構造説明図

単位 mm

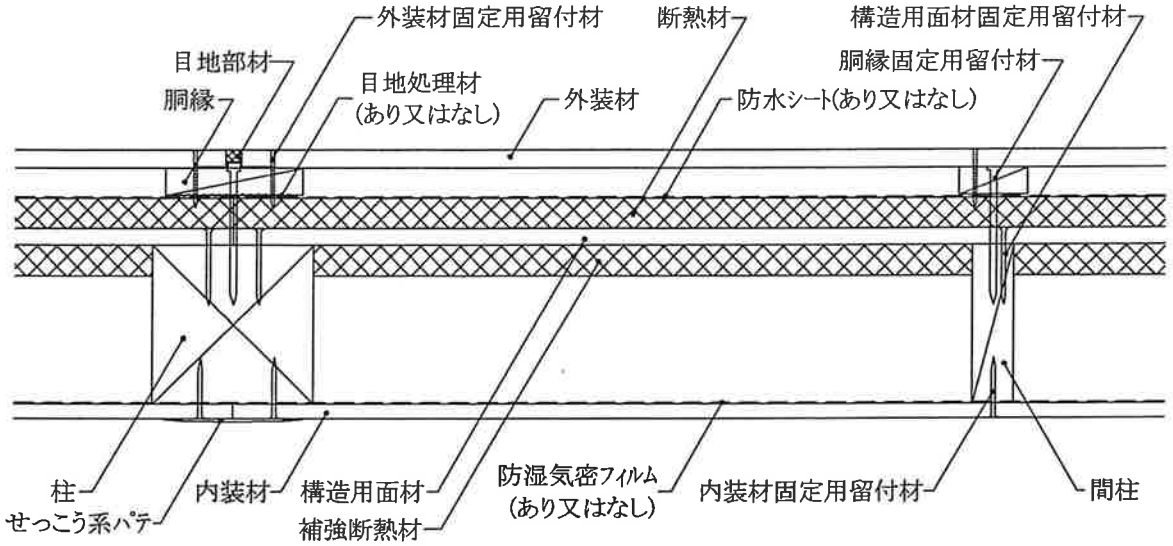
補強断熱材充てん／外装材横張／断熱材張／
構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



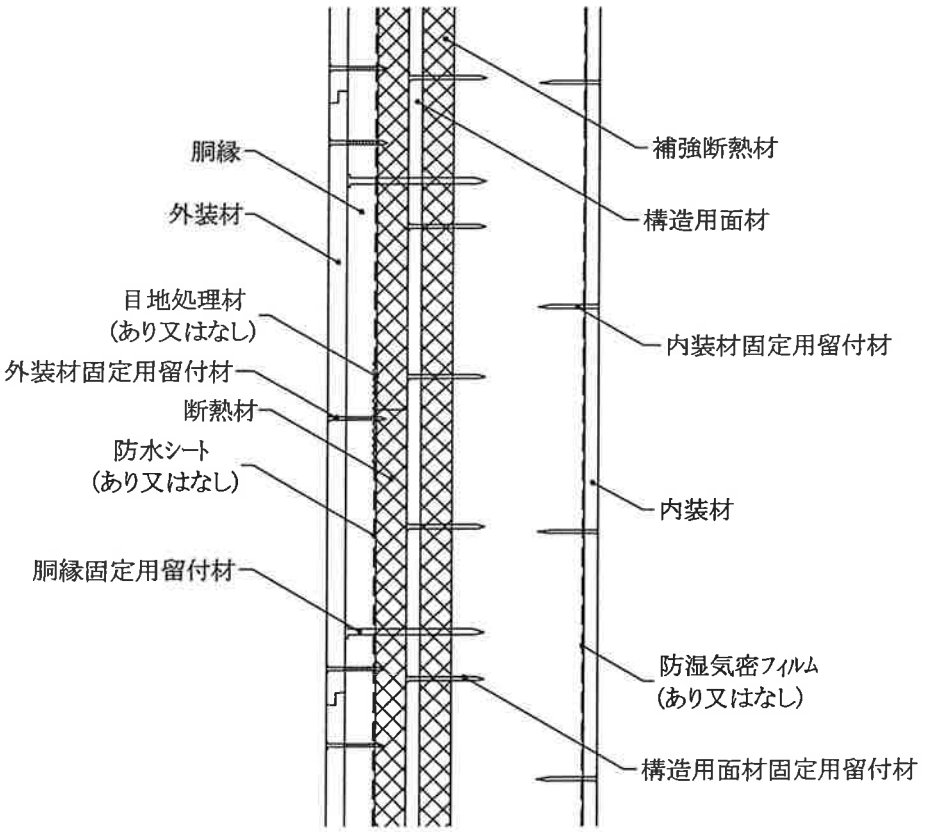
透視図

図25　構造説明図

補強断熱材充てん／外装材横張／断熱材張／
構造用面材張り／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



水平断面図

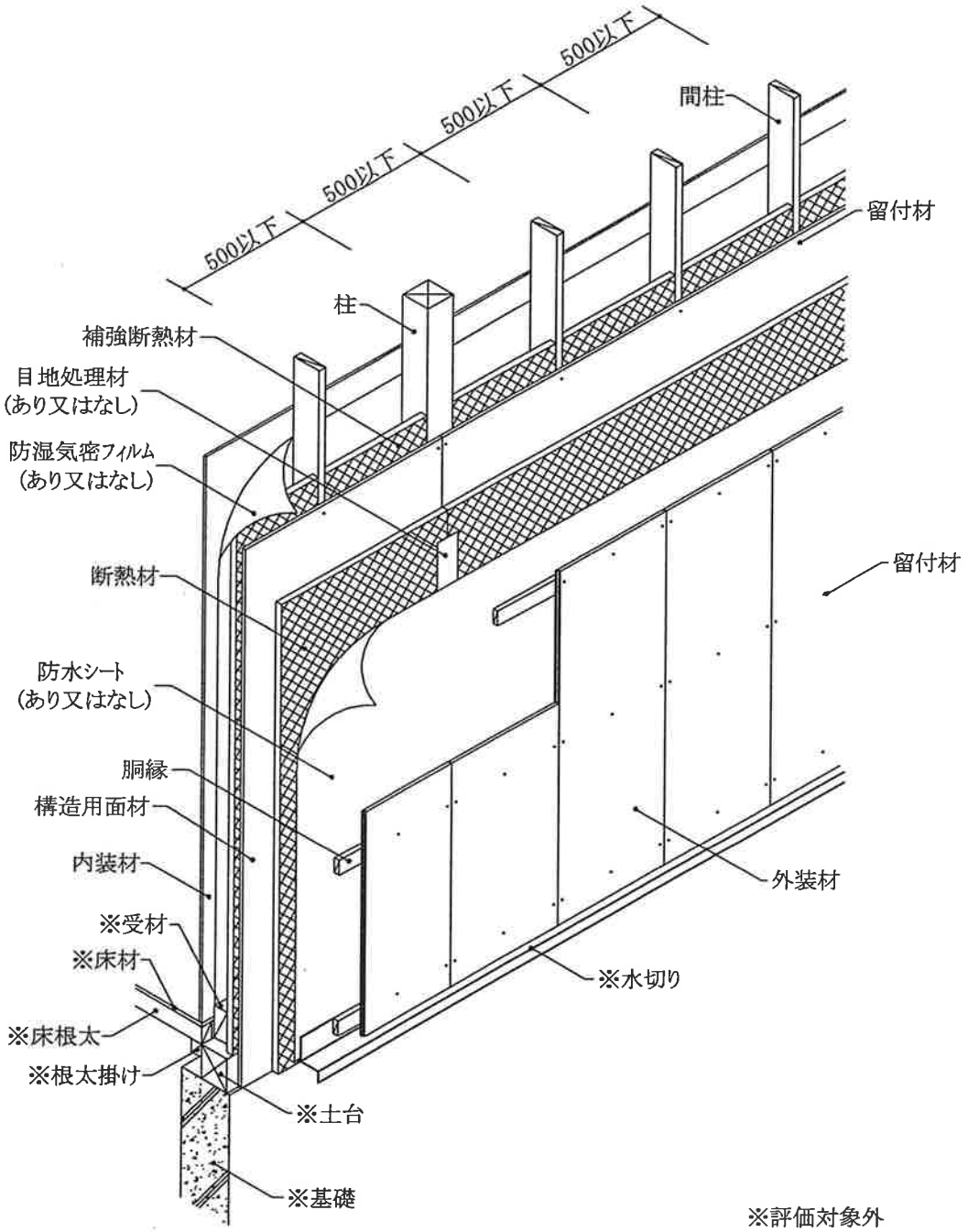


鉛直断面図

図26　構造説明図

単位 mm

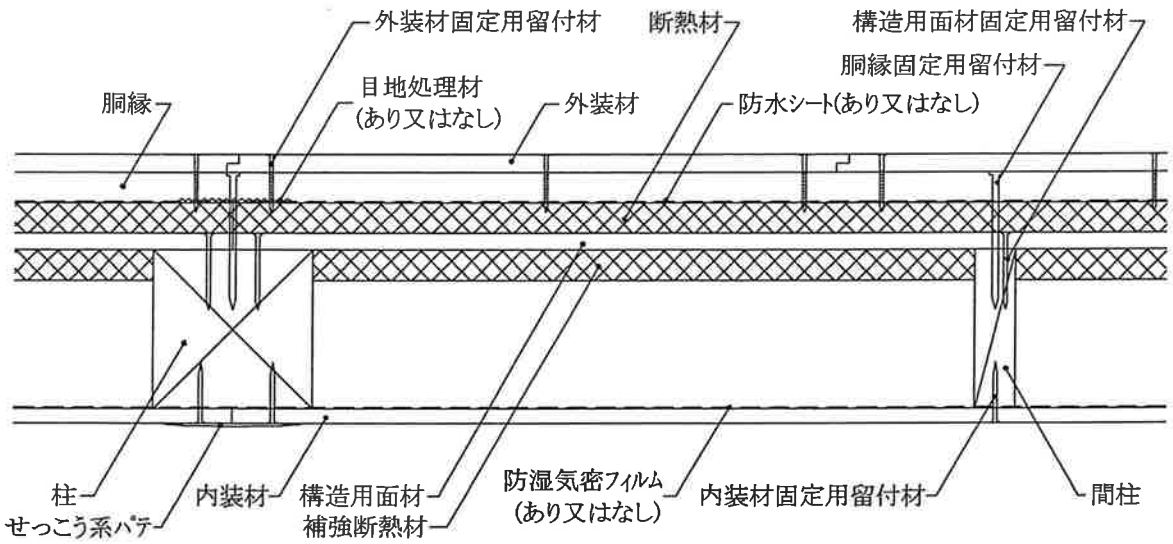
補強断熱材充てん／外装材縦張（横胴縁）／断熱材張／
構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



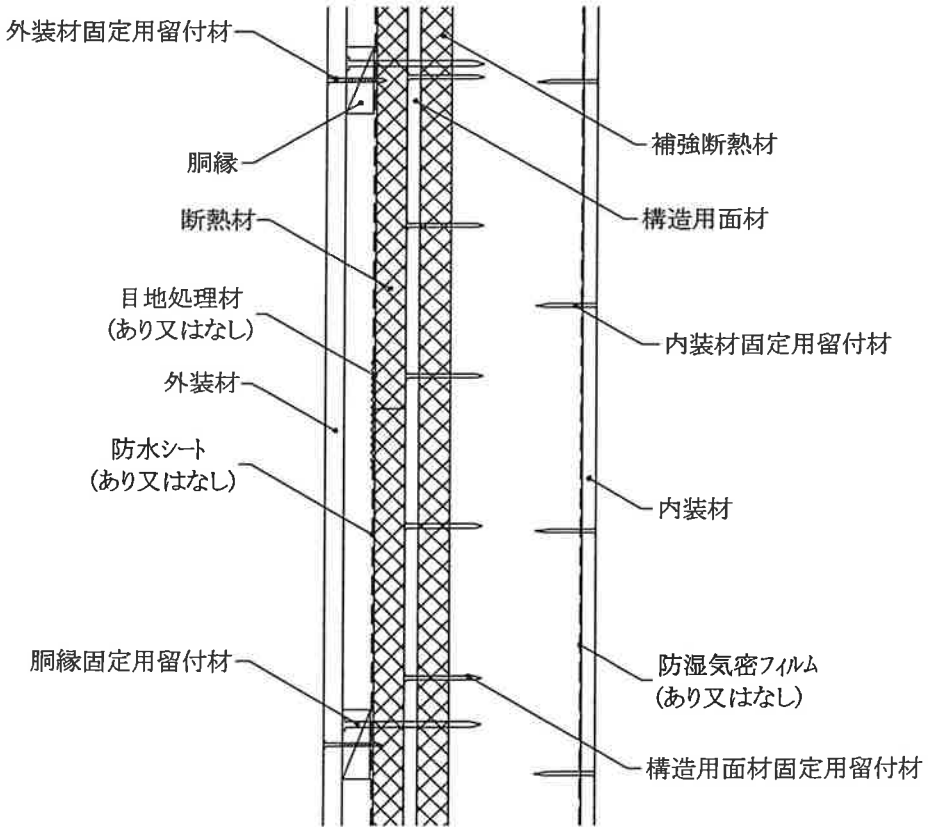
透視図

図27　構造説明図

補強断熱材充てん／外装材縦張（横胴縁）／断熱材張／
構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



水平断面図

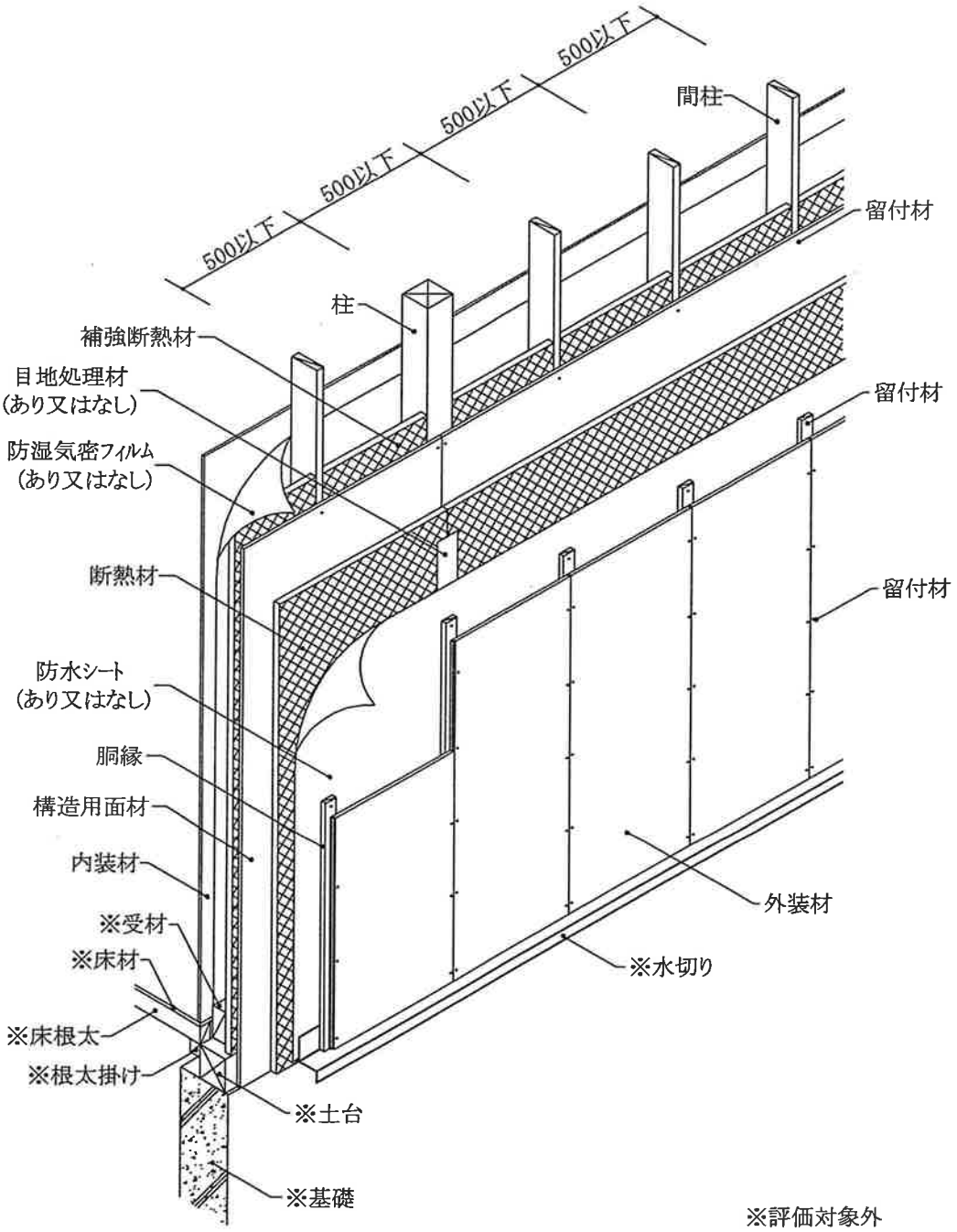


鉛直断面図

図28　構造説明図

単位 mm

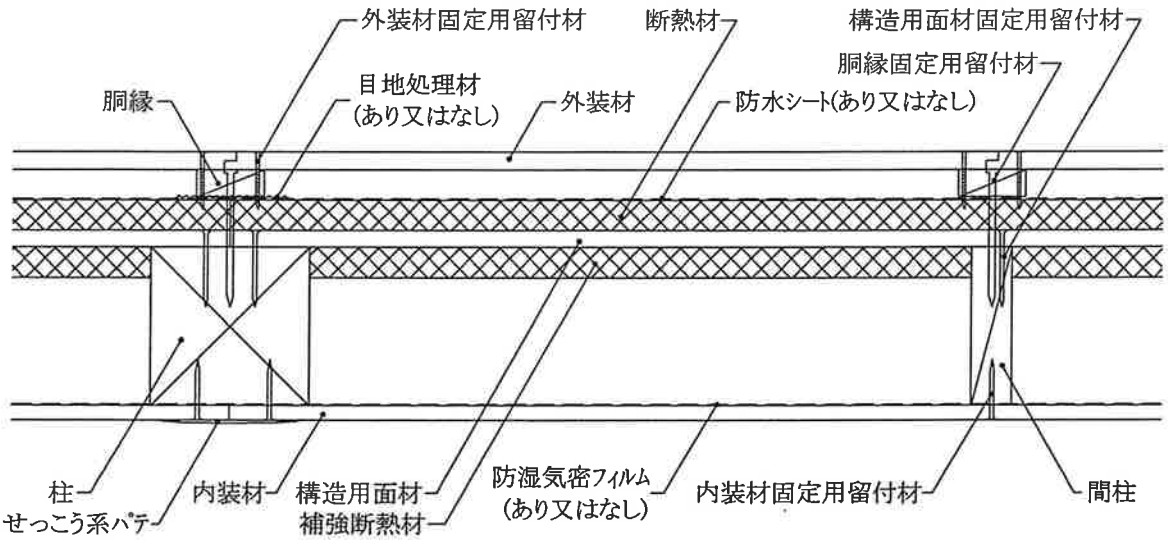
補強断熱材充てん／外装材縦張（縦胴縁）／断熱材張／
構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



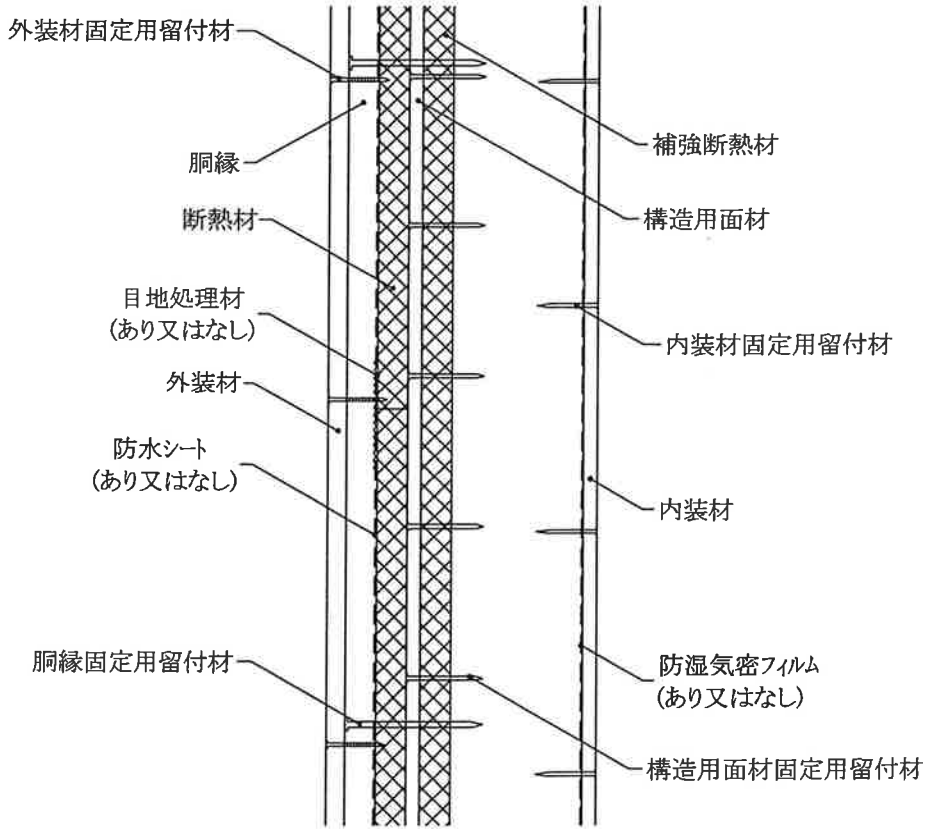
透視図

図29　構造説明図

補強断熱材充てん／外装材縦張（縦胴縁）／断熱材張／
構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



水平断面図

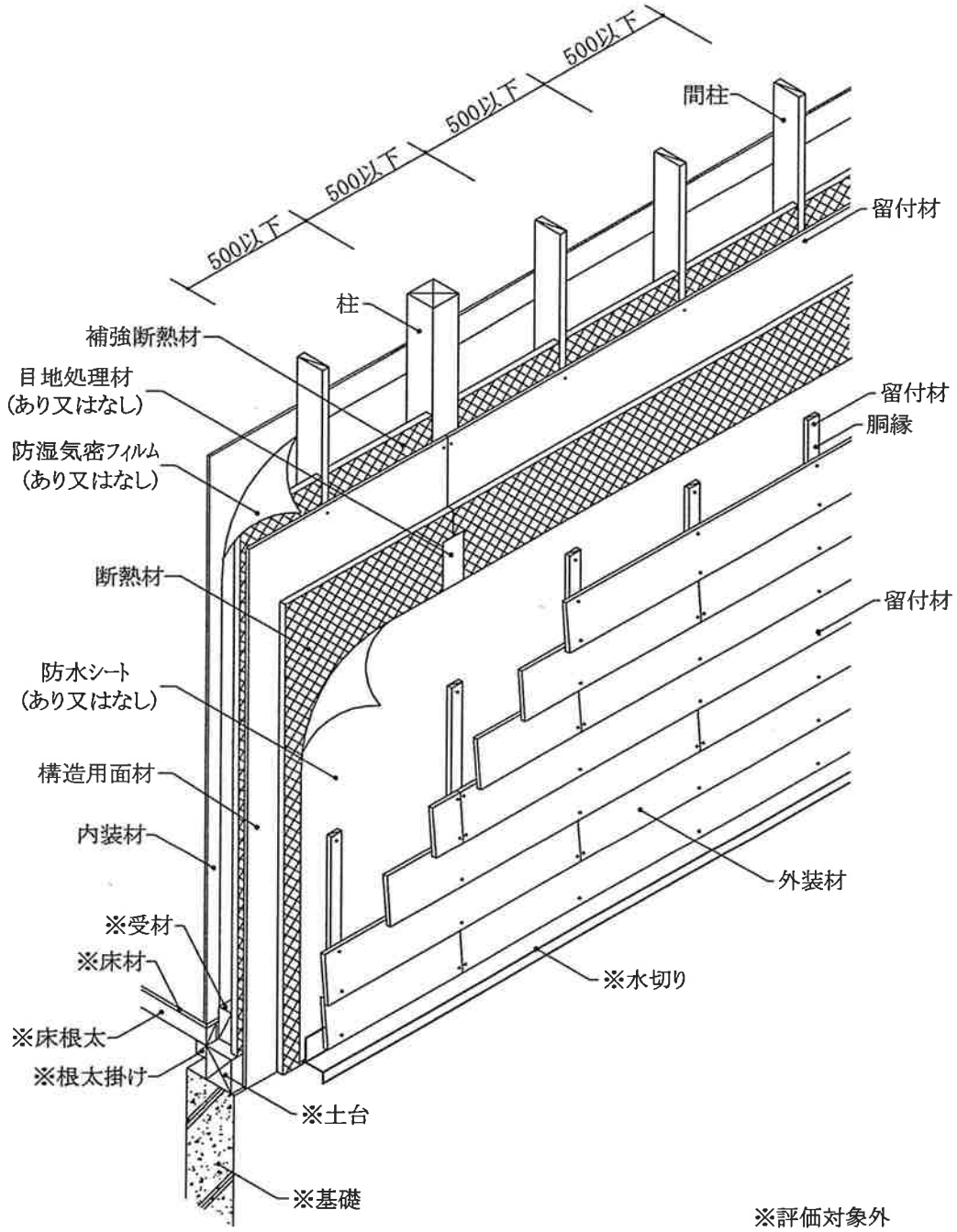


鉛直断面図

図30　構造説明図

単位 mm

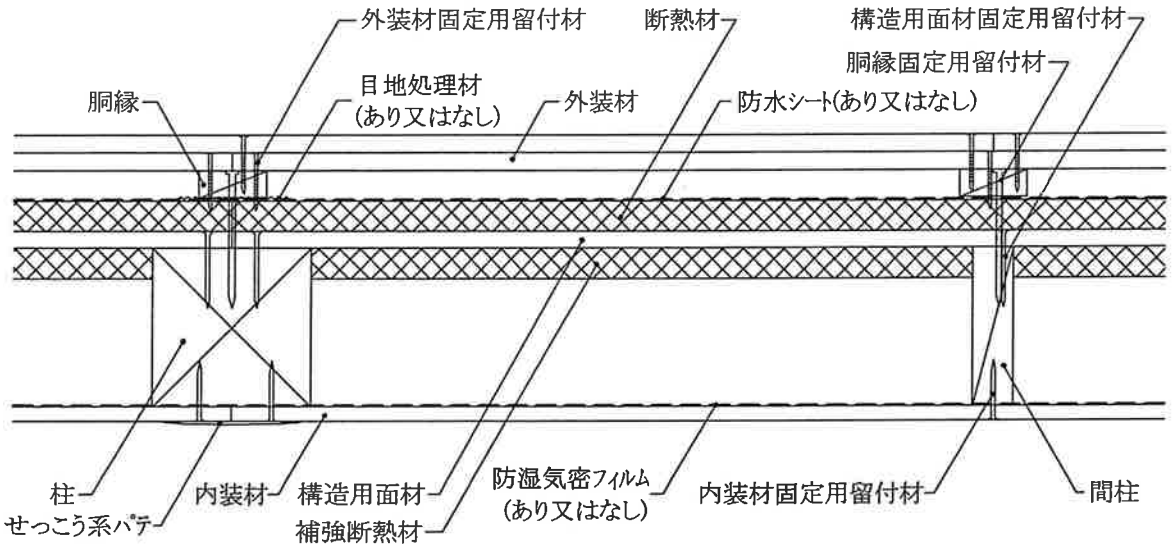
補強断熱材充てん／外装材重張／断熱材張／
構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



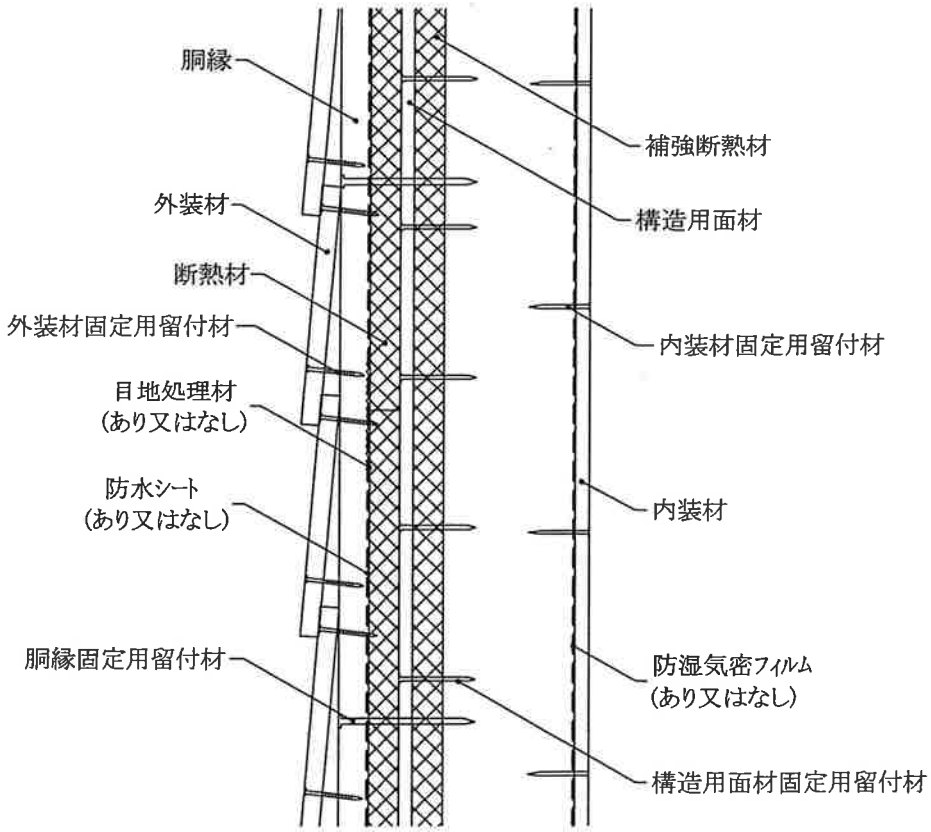
透視図

図31　構造説明図

補強断熱材充てん／外装材重張／断熱材張／
構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造



水平断面図

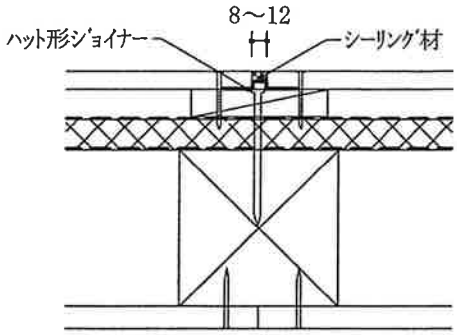


鉛直断面図

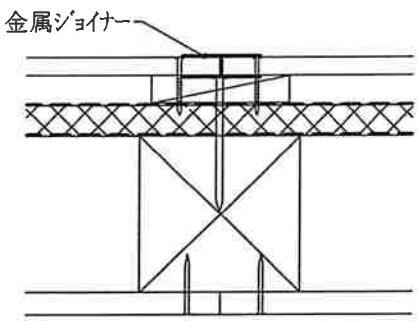
図32　構造説明図

単位 mm

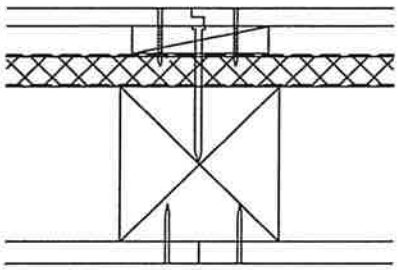
①シーリング目地＋ハット形ジョイナー



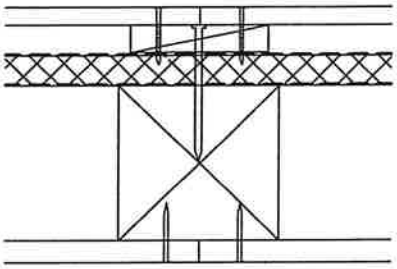
②金属ジョイナー目地



③本実・合いじゃくり目地



④突付け目地



⑤重なり目地

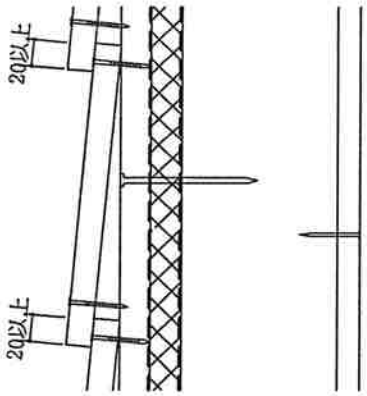
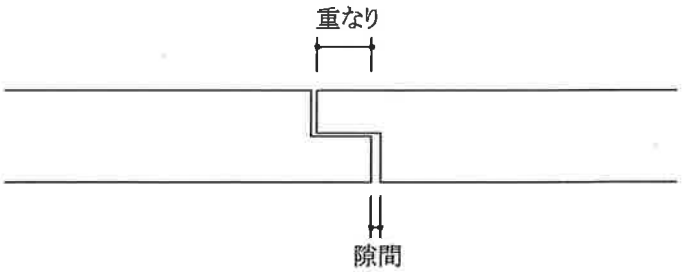
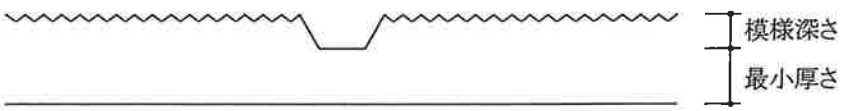


図33 構造説明図

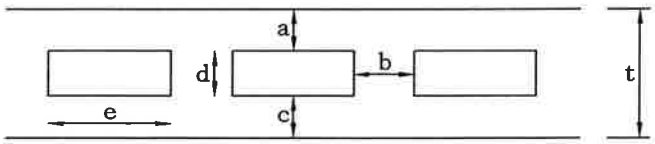
①端部形状



②断面形状



③中空品形状



厚さ	t	15 mm以上
	a	3 mm以上
	b	3 mm以上
	c	3 mm以上
	d	9 mm以下
	e	t mm以下

図34 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図35～図50に示す。

施工方法は以下の手順で行う。

(1) 構造用面材を用いる場合

・構造用面材の取付けは、昭和56年建設省告示第1100号(ろ)に指定されている構造用面材はその仕様に基づき取付ける。その他の構造用面材はその取付け方法に準拠する。

・構造用面材の目地部に気密テープを張付ける場合もある。

(2) 防湿気密フィルムを張付ける場合

・防湿気密フィルムは横張又は縦張とし、上下・左右の重ね代を100㎜以上とする。

・柱及び間柱又は構造用面材への留付けは内幅9.6㎜以上、足長10㎜以上のステープルまたはN19以上の鉄丸くぎなどで留付ける。

・張付けはできるだけたるみ、しわのないようにする。

(3) 断熱材の取付け

・断熱材の取付けは、１層張又は２層張とする。

・断熱材の突付け部は、柱又は間柱などの下地がある部分で合せる。

・留付けは隙間が生じないように、必要に応じてくぎなどで仮留めする。

・断熱材の目地部に気密テープを張付ける場合もある。

(4) 防水シートを張付けする場合

・防水シートは横張を原則とし、重ね代は縦90㎜以上、横150㎜以上とする。

・断熱材への留付けは内幅9.6㎜以上、足長10㎜以上のステープルまたはN19以上の鉄丸くぎなどで留付ける。

・張付けはできるだけたるみ、しわのないようにする。

(5) 胴縁の取付け

・下地に500㎜以下の間隔で鉄丸くぎ又は断熱パネルビスを用いて取付ける。

・外装材を横張する場合は胴縁が柱又は間柱と通りが同じになるように縦方向に配置する。
外装材を縦張する場合は胴縁を柱又は間柱に対して横方向又は通りが同じになるように縦方向に配置する。

・胴縁寸法で不陸のないように調整する。

(6) 外装材(サイディング)の取付け

・サイディングの張り方は、縦張、横張又は重張仕様とする。

・サイディングの留付けは、くぎ又はタッピンねじ留めとする。
端部留付位置は板端部より20㎜以上内側に入った位置で、サイディングの種類に合わせた留付材を用いて303㎜以下の間隔で留付ける。

・取付けは、目地通りよく、不陸、目違い等のないように行う。

・サイディングと土台などに用いる水切りジョイナーの取合いは10㎜程度の隙間をあける。

・サイディングの目地処理は以下の方法で行う。

①シーリング材とハット形ジョイナーとの併用目地

・目地部には、胴縁等を設けること。

・目地幅は８～12㎜とする。

・サイディング厚さが厚い場合は必要に応じて、ハット形ジョイナーを用いて、その上にシーリング材を隙間が生じないように充てんする。

・シーリング材は56g/m以上充てんする。

②金属製ジョイナー目地

・目地部には、胴縁等を設けること。

・H形ジョイナーはサイディングをはめ込み、サイディングを留付けて押える。

③合いじゃくり・本実目地

・サイディングの重ね代及び隙間は指定寸法を確保し、上実・下実のいずれかの端部は相互に密着させるように張付ける。

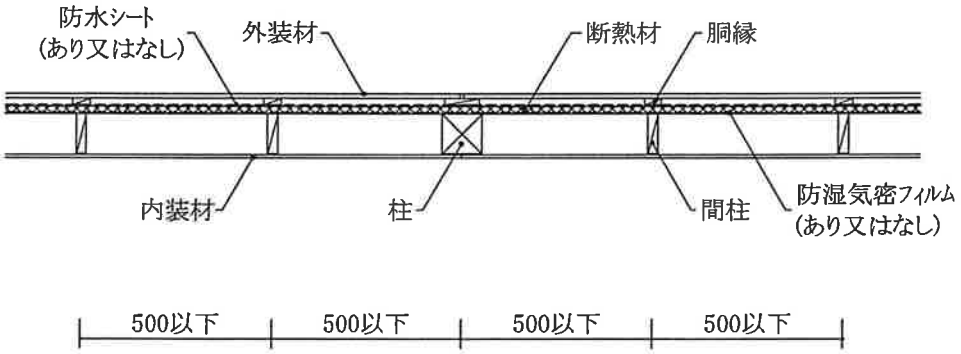
④突付け目地
・目地部には、胴縁等を設けること。
・目地部においてサイディングは隙間が生じないように、くぎ又はタッピンねじで留付ける。
⑤重なり目地(重張工法の場合)
・サイディング相互の重ね代は20㎜以上とする。
⑥シーリング材とバックアップ材との併用目地（サイディング15㎜以上の場合）
・目地部には、胴縁等を設けること。
・目地幅は８～12㎜とする。
・目地部にバックアップ材を用いて、その上にシーリング材を厚さ12㎜以上隙間が生じないように56ｇ/m以上充てんする。

(7) 補強断熱材を充てんする場合
・断熱材の取付けは、１層張又は２層張とする。
・周囲の木枠の内のり寸法に合わせて正確に切断する。
・断熱材は柱、間柱との周囲に隙間が生じないように充てんする。
・断熱材はずれないように、周囲の柱、間柱にくぎなどで留付ける。

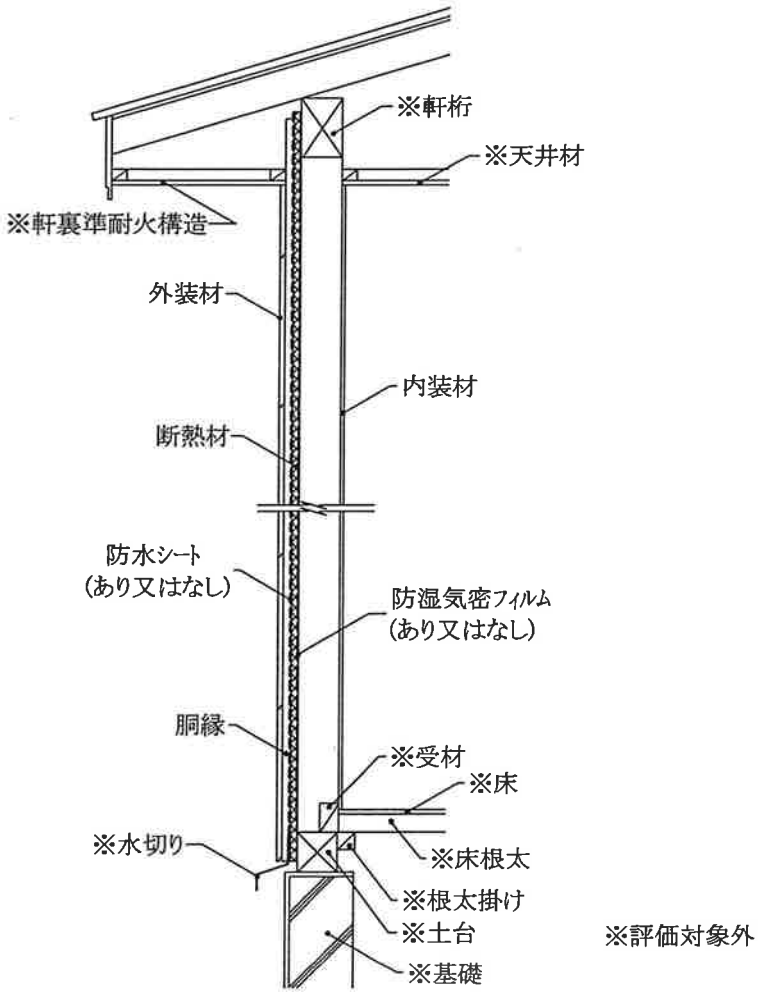
(8) 内装材の取付け
・せっこうボードはせっこうボード用くぎ、十字穴付き木ねじ又はドリリングタッピンねじのいずれかを用いて柱及び間柱に留付ける。
・せっこうボードを重張(表２内装材仕様)する場合は、上張材と下張材の目地が重ならないように張り上げる。
・目地部にはせっこう系パテを施す。
なお、せっこうラスボード(9.5㎜以上)の上にせっこうプラスターを施す場合は、厚さムラ及び鏝圧を十分掛け剥がれないないように注意し、厚さが８㎜以上であることを確認する。

外装材横張／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造

単位 mm



水平断面図

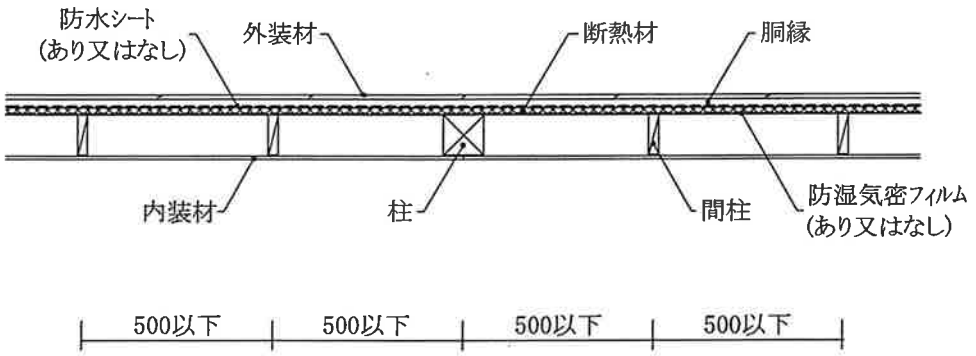


鉛直断面図

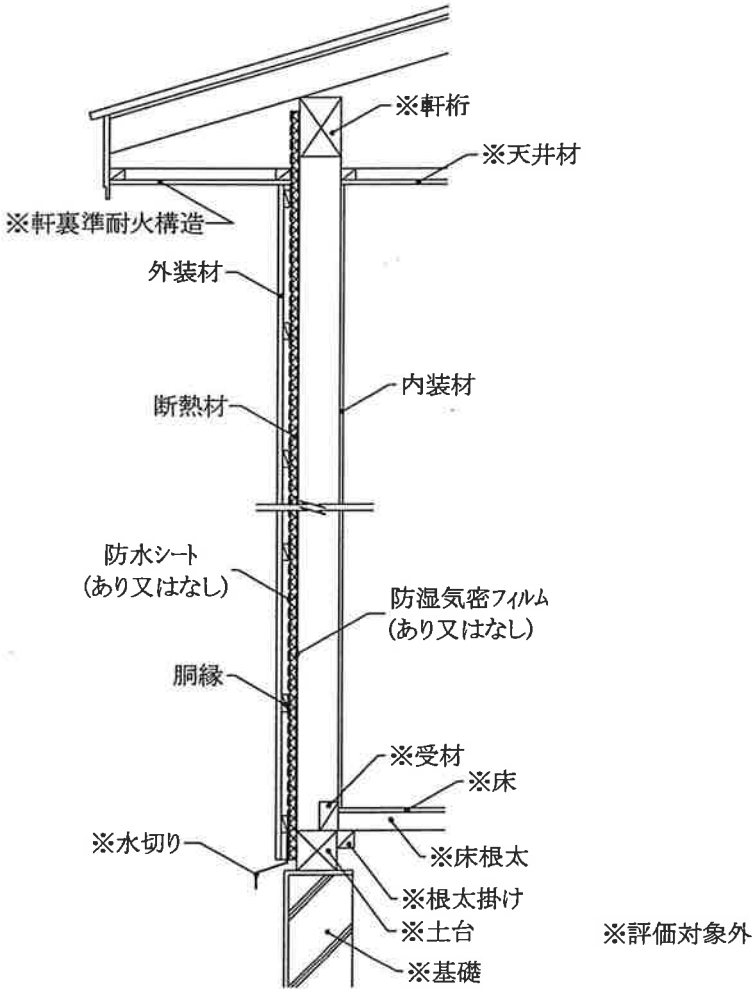
図35 施工図

外装材縦張（横胴縁）／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造

単位 mm



水平断面図

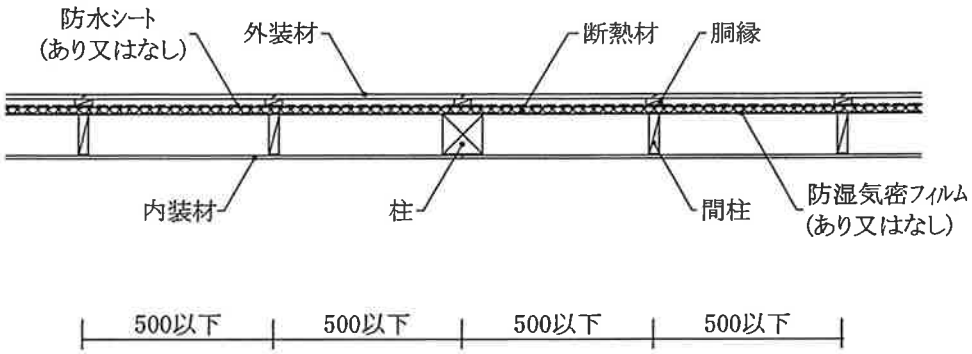


鉛直断面図

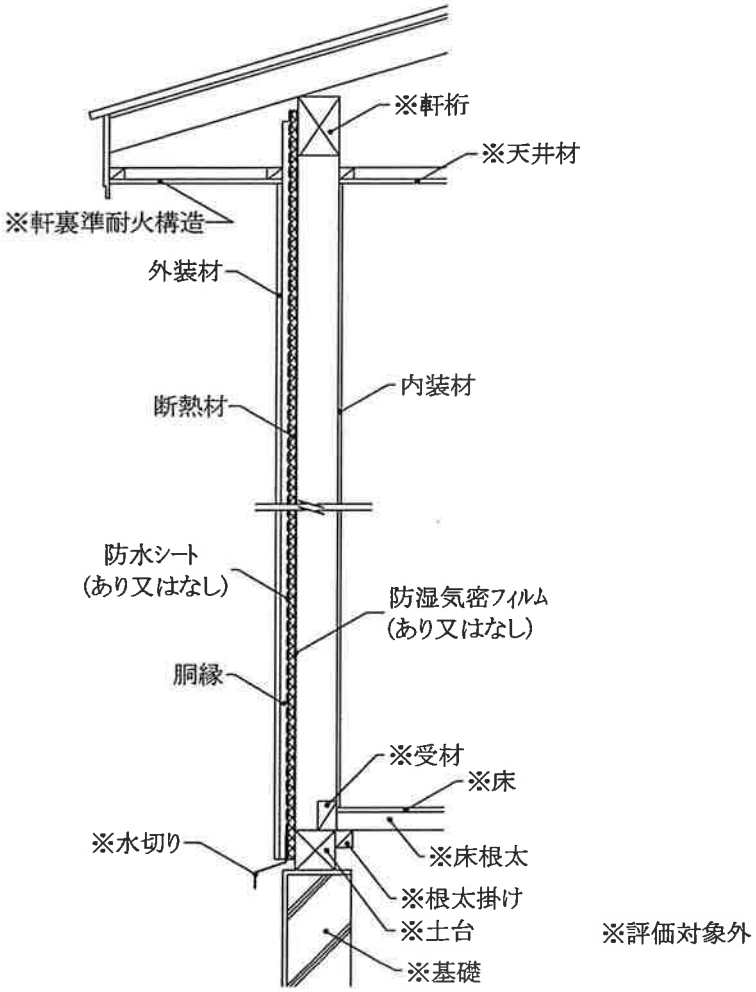
図36　施工図

外装材縦張（縦胴縁）／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造

単位 mm



水平断面図

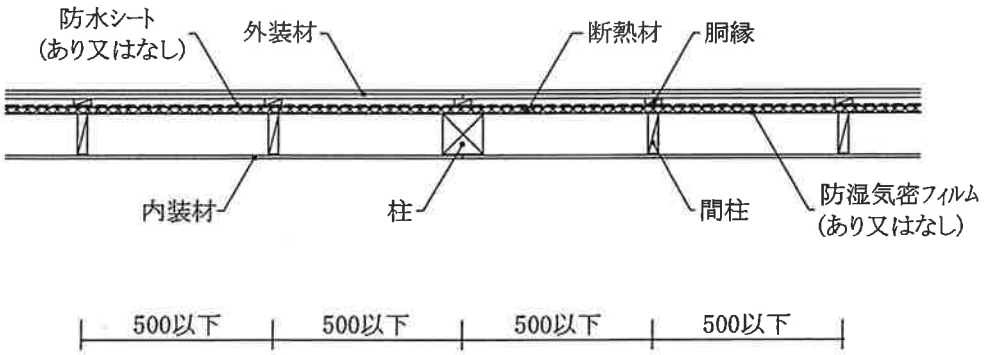


鉛直断面図

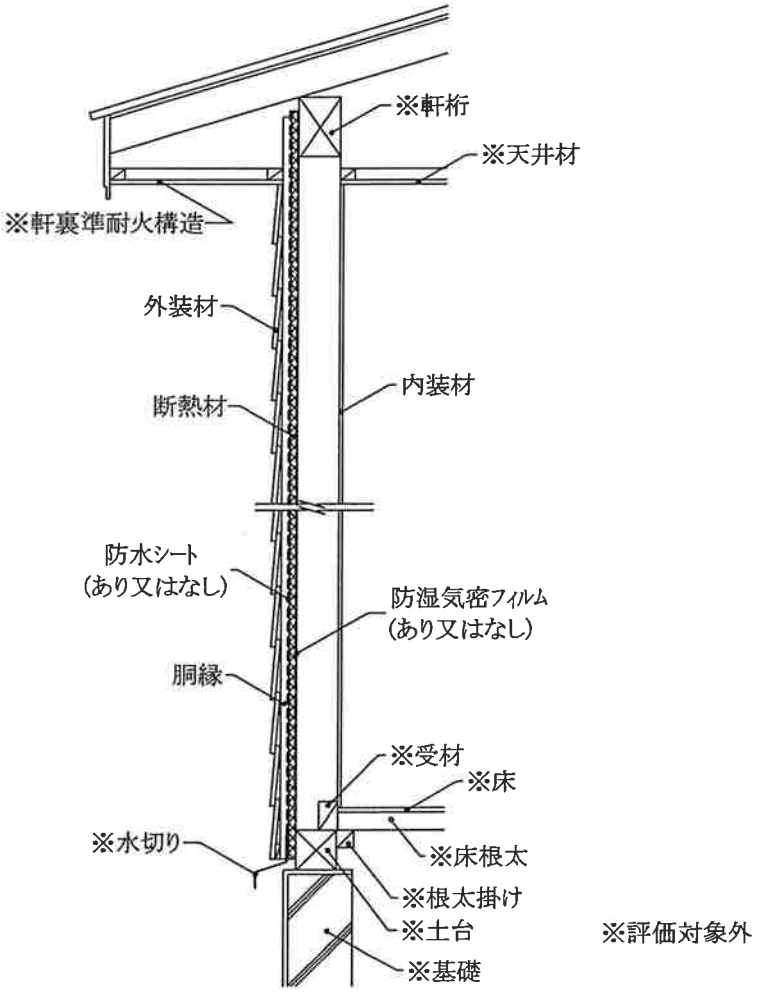
図37　施工図

外装材重張／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造

単位 mm



水平断面図

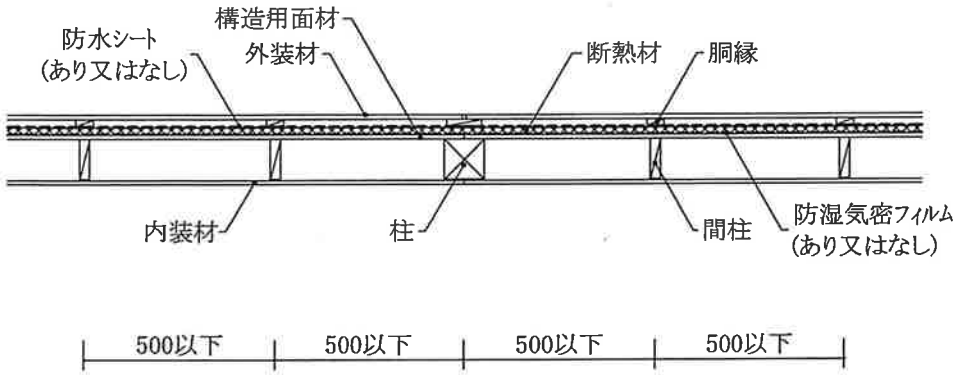


鉛直断面図

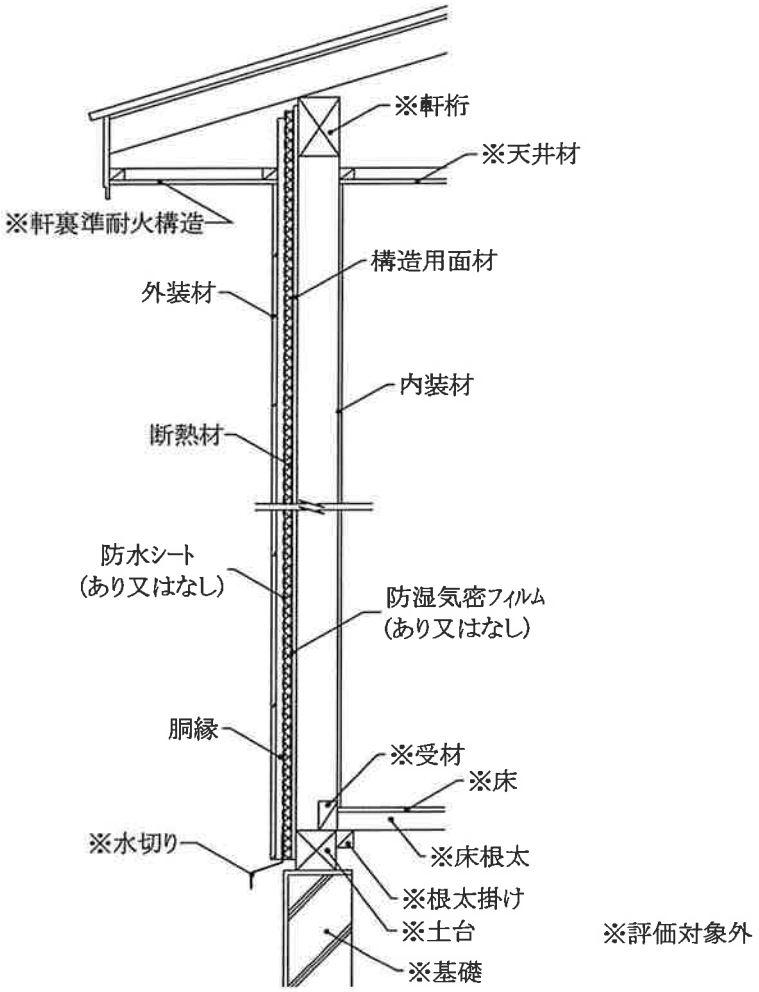
図38 施工図

外装材横張／断熱材張／構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造

単位 mm



水平断面図

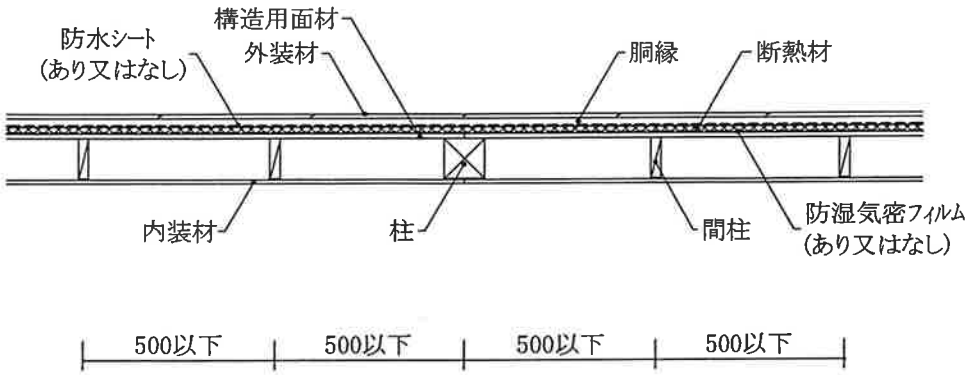


鉛直断面図

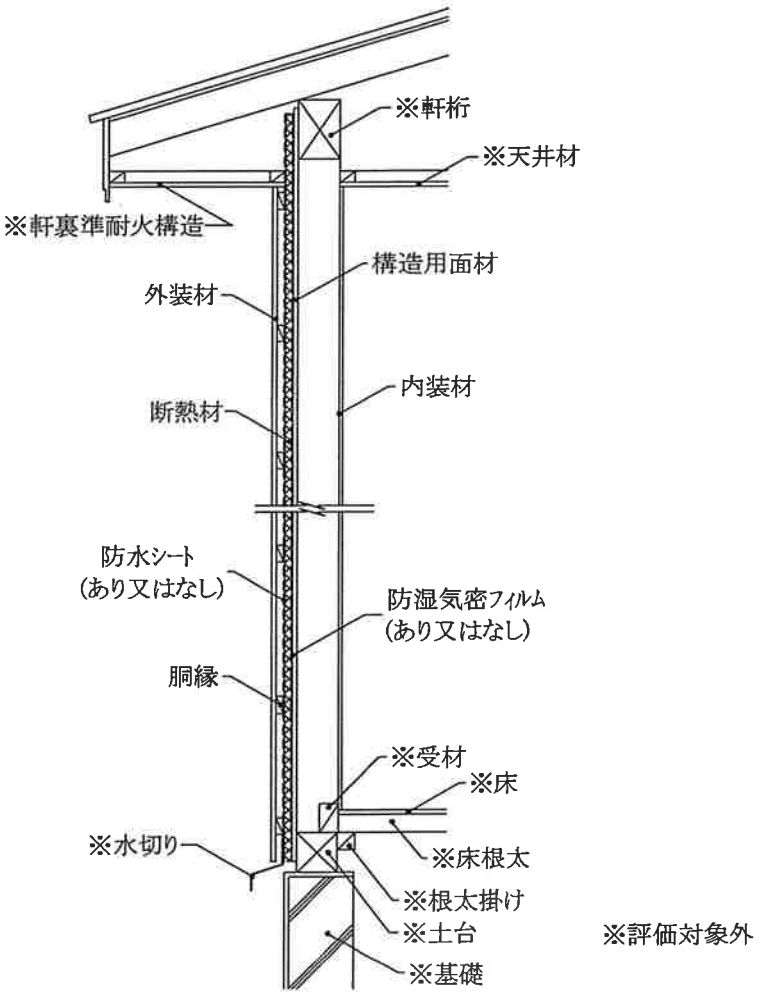
図39 施工図

外装材縦張（横胴縁）／断熱材張／構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造

単位 mm



水平断面図

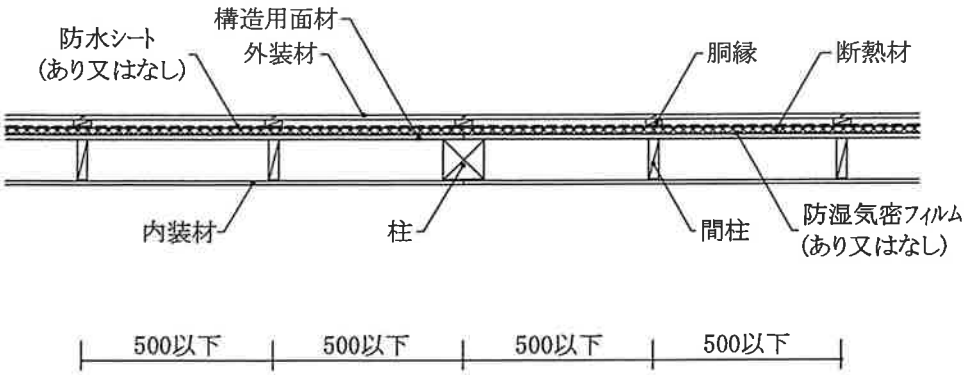


鉛直断面図

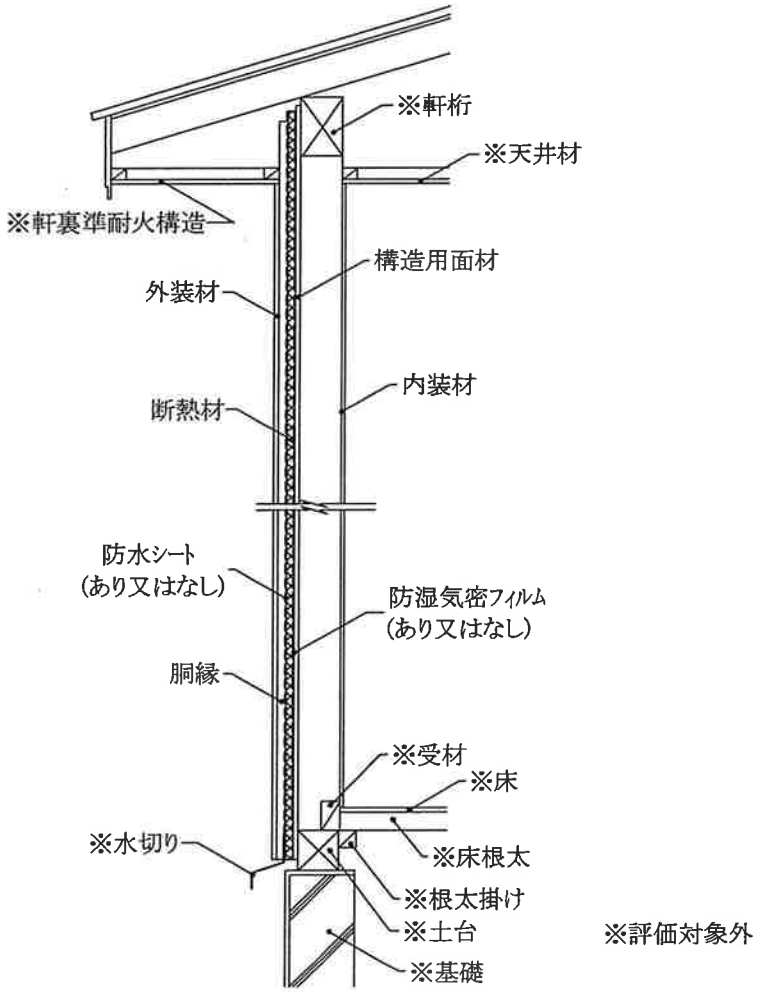
図40　施工図

外装材縦張（縦胴縁）／断熱材張／構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造

単位 mm



水平断面図

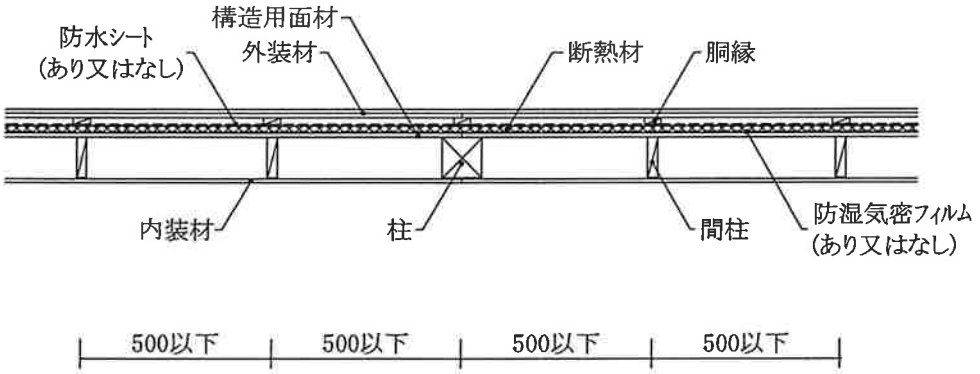


鉛直断面図

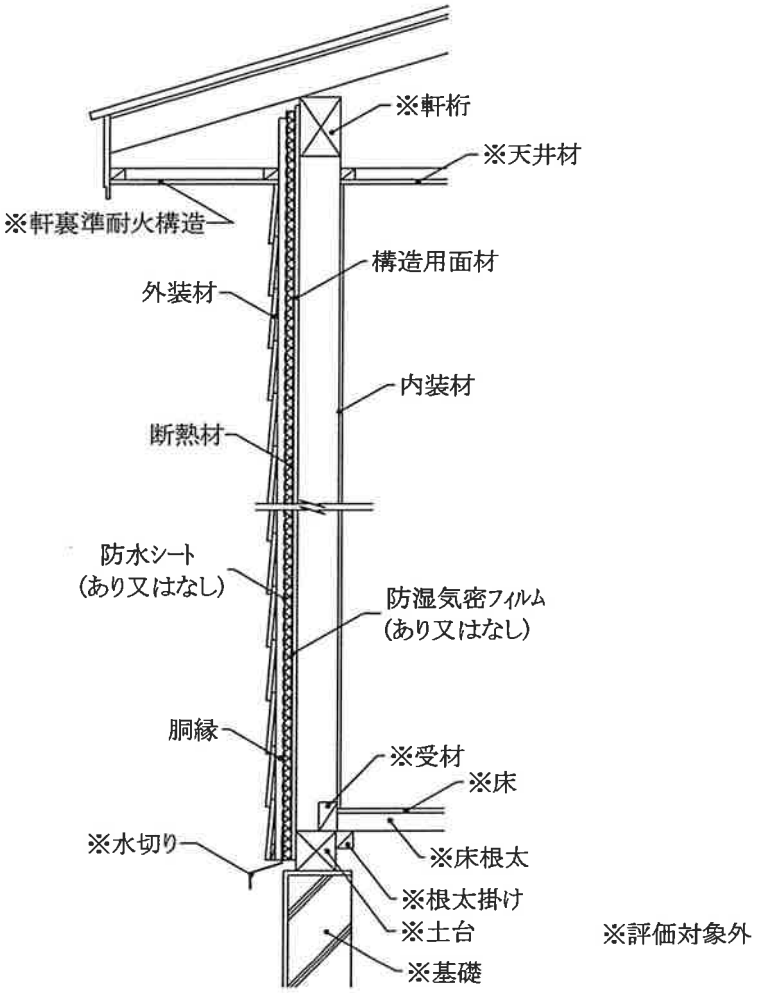
図41　施工図

外装材重張／断熱材張／構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造

単位 mm



水平断面図

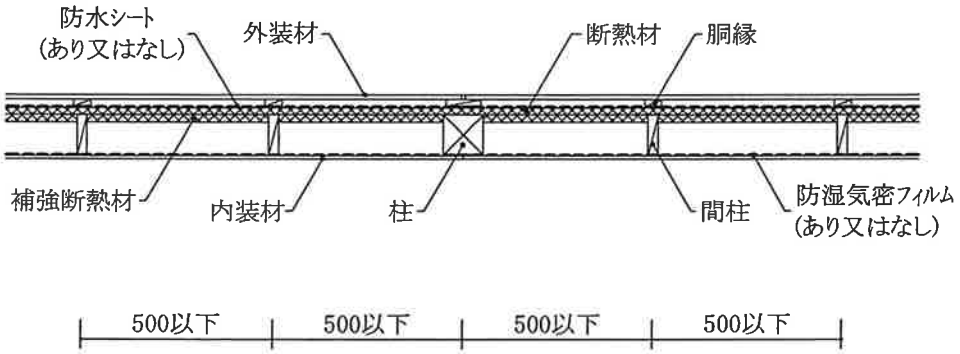


鉛直断面図

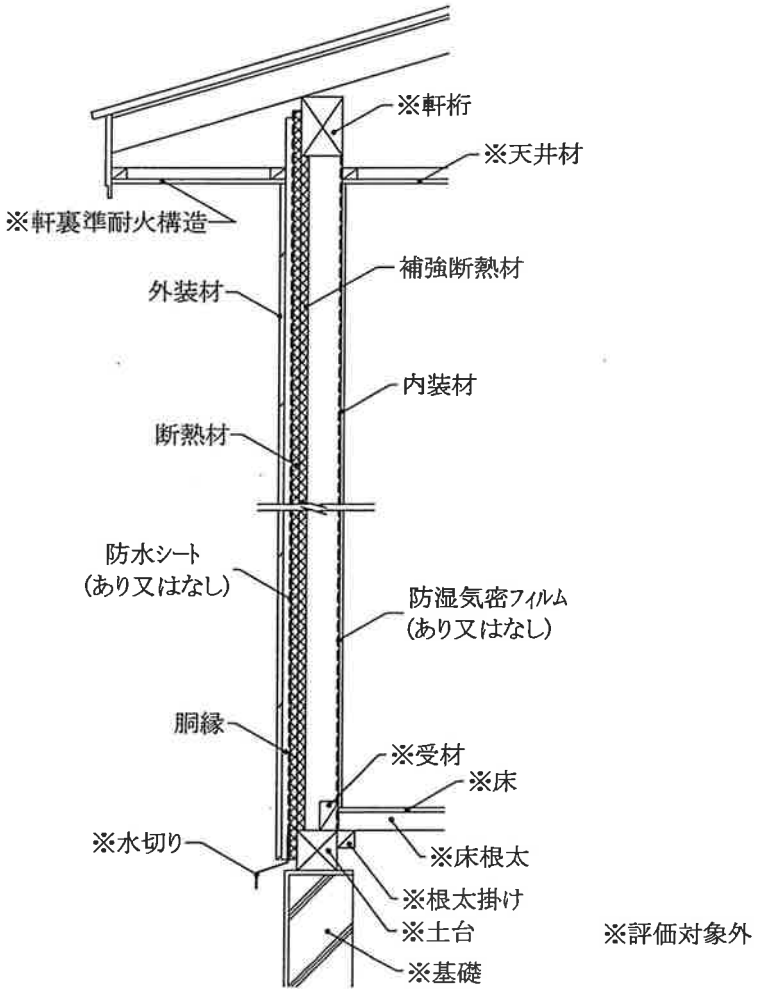
図42 施工図

補強断熱材充てん／外装材横張／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造

単位 mm



水平断面図

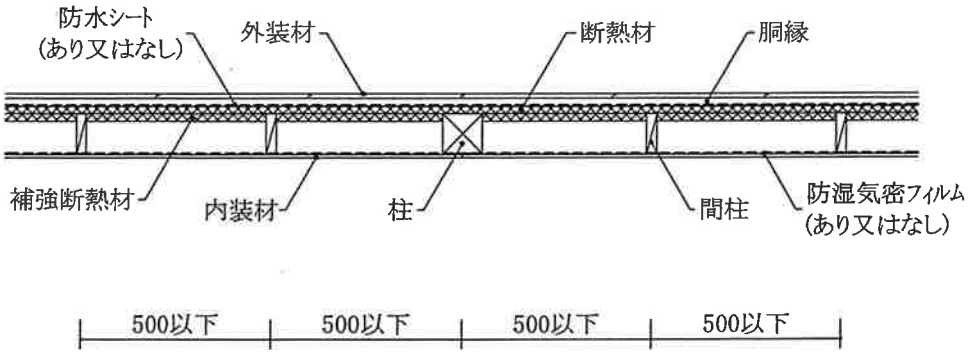


鉛直断面図

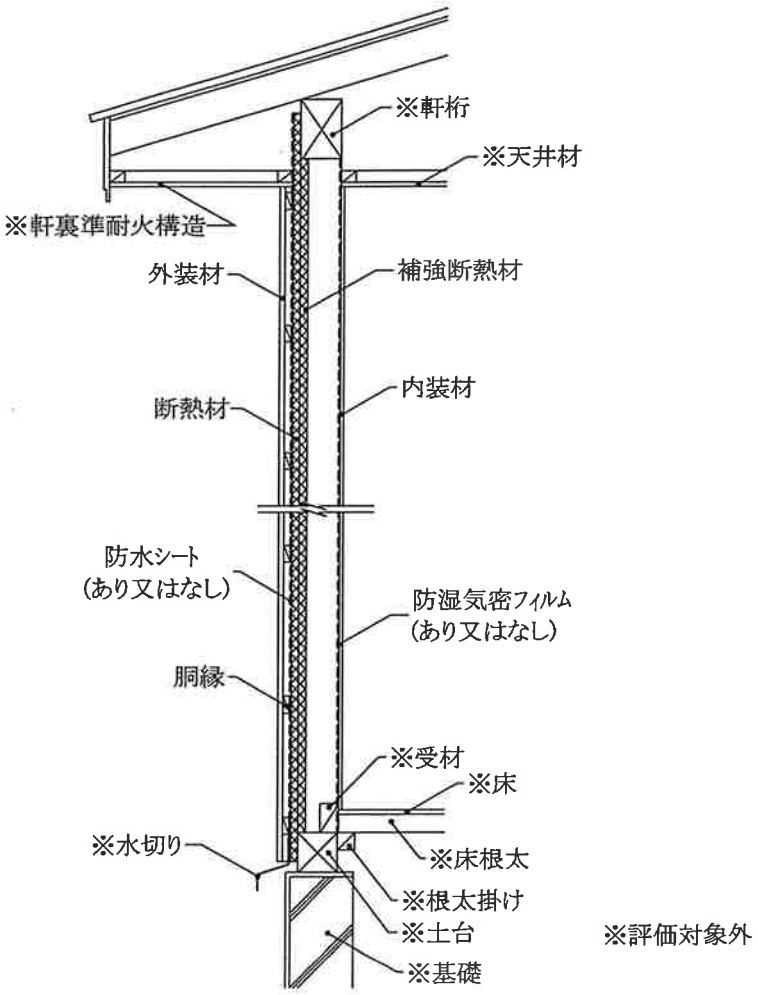
図43 施工図

補強断熱材充てん／外装材縦張（横胴縁）／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造

単位 mm



水平断面図

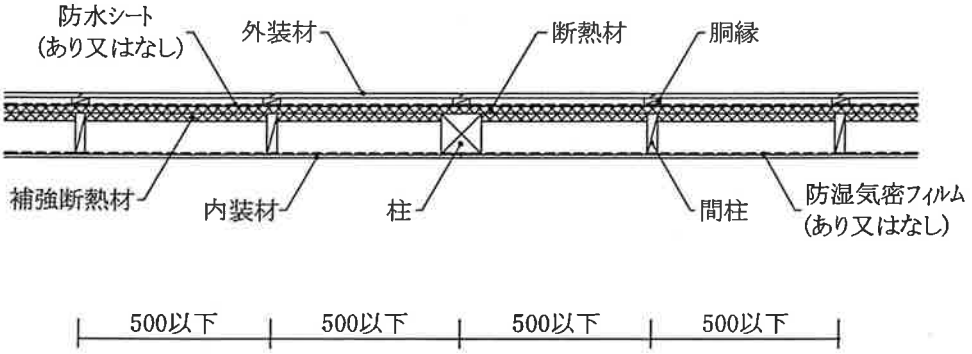


鉛直断面図

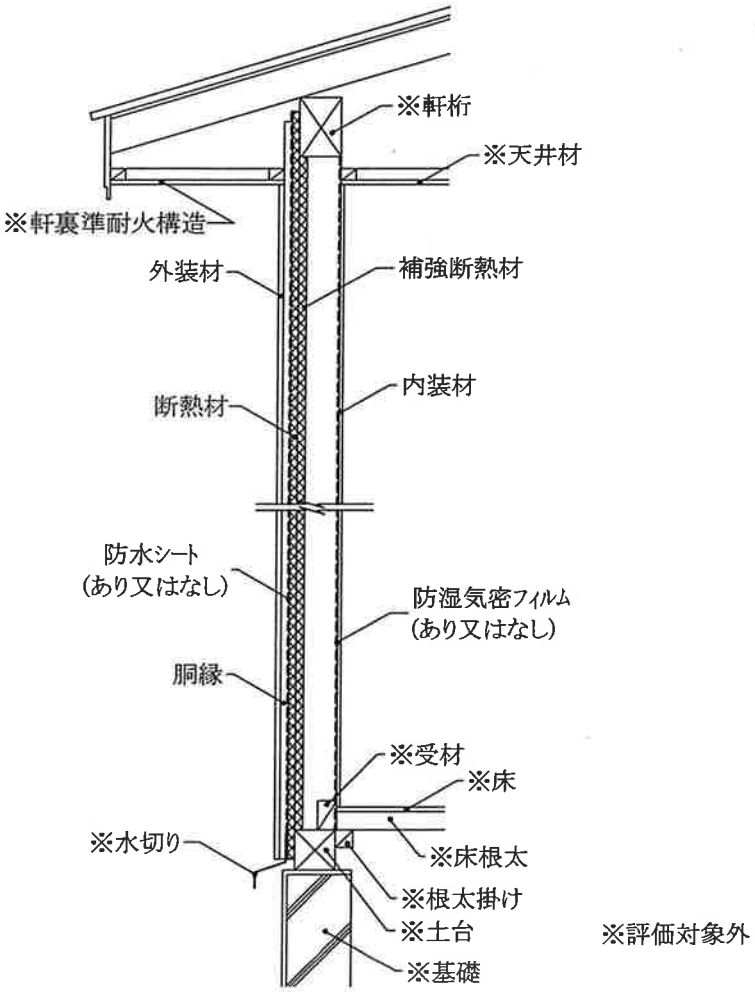
図44 施工図

補強断熱材充てん／外装材縦張（縦胴縁）／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造

単位 mm



水平断面図

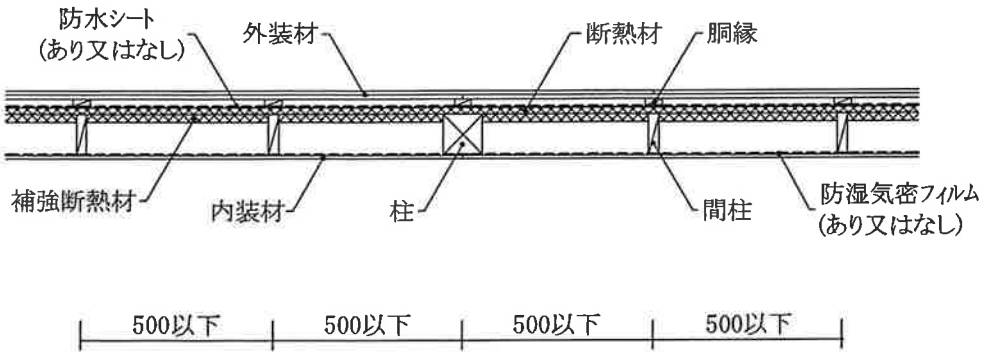


鉛直断面図

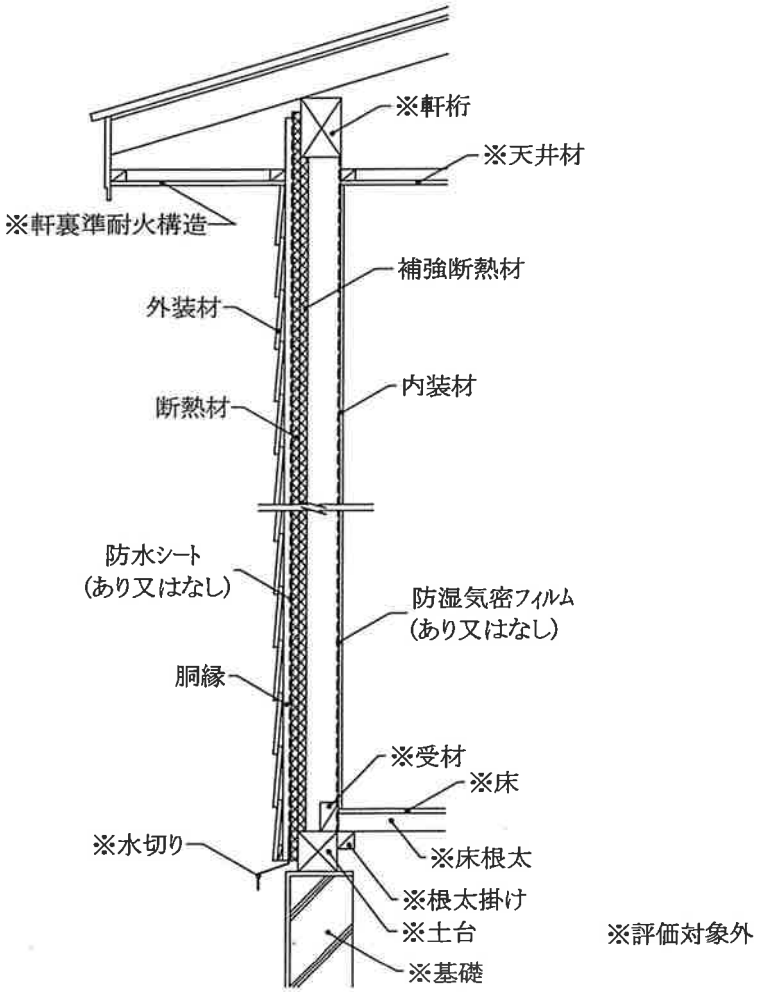
図45 施工図

補強断熱材充てん／外装材重張／断熱材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造

単位 mm



水平断面図

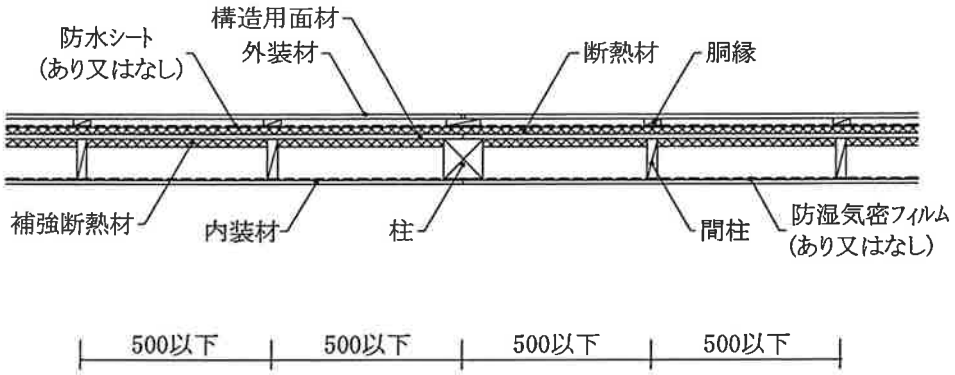


鉛直断面図

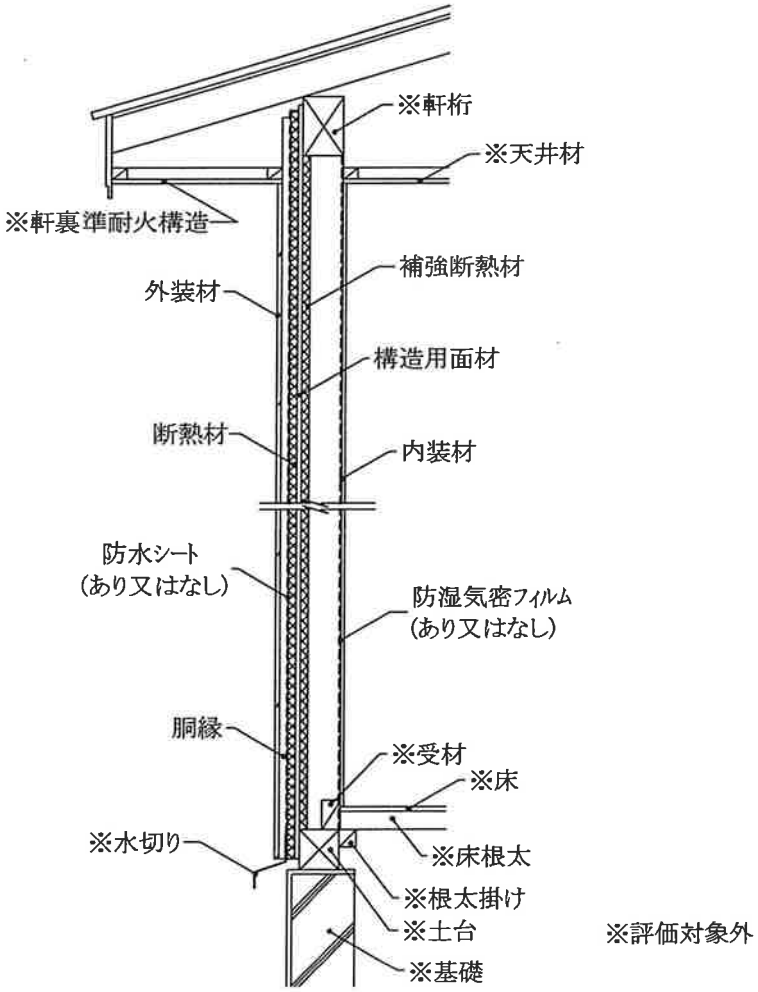
図46　施工図

補強断熱材充てん／外装材横張／断熱材張／
構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造

単位 mm



水平断面図

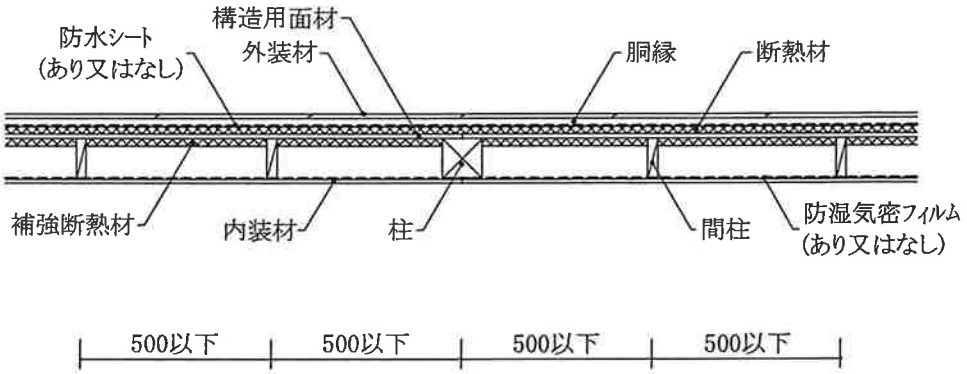


鉛直断面図

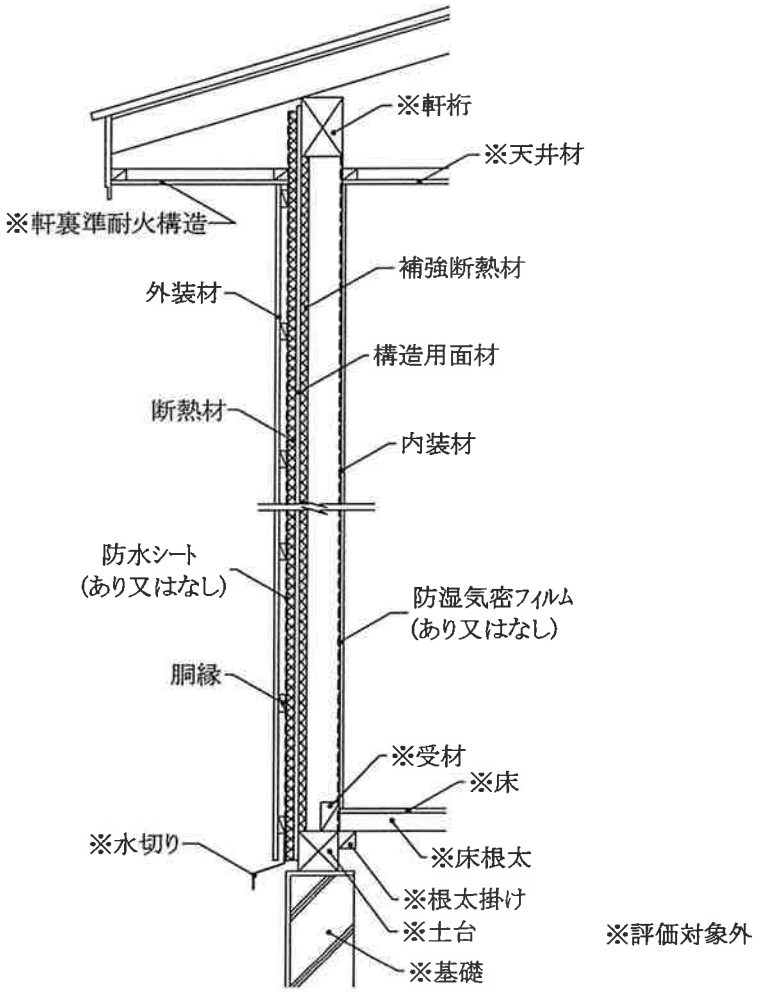
図47 施工図

補強断熱材充てん／外装材縦張（横胴縁）／断熱材張／
構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造

単位 mm



水平断面図

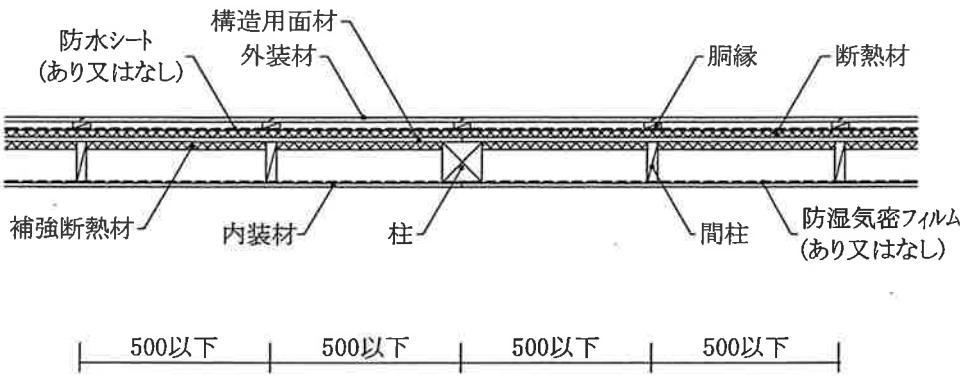


鉛直断面図

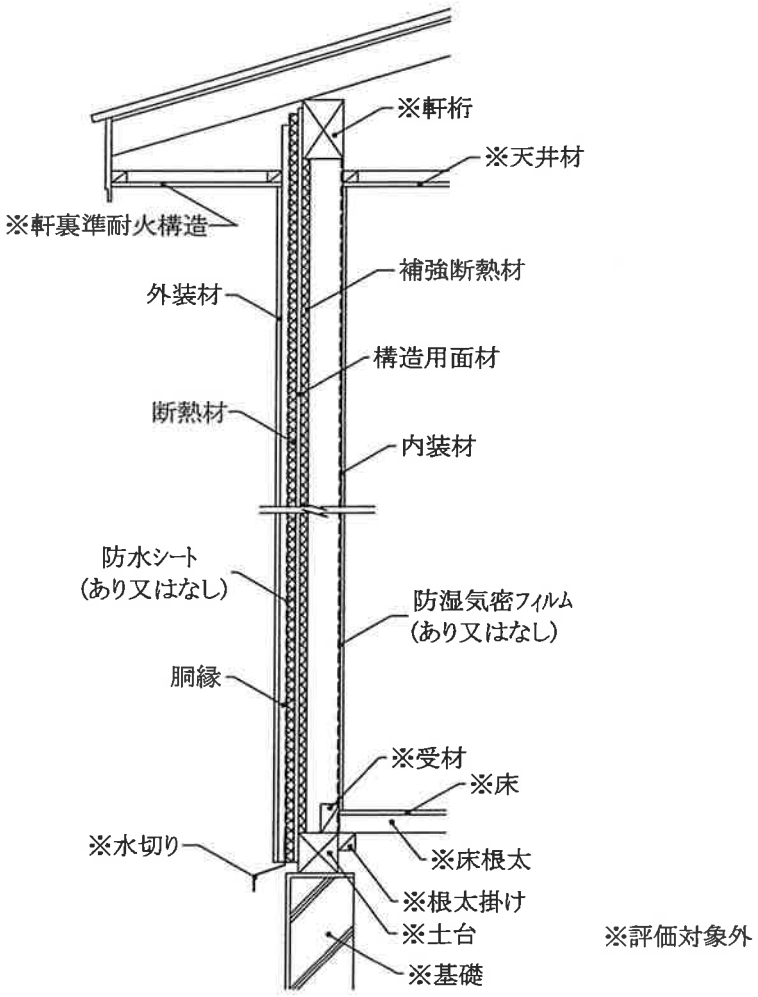
図48　施工図

補強断熱材充てん／外装材縦張（縦胴縁）／断熱材張／
構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造

単位 mm



水平断面図

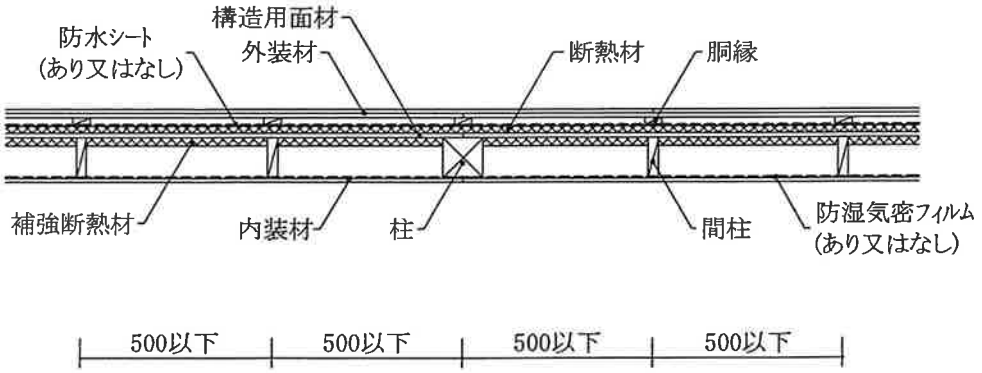


鉛直断面図

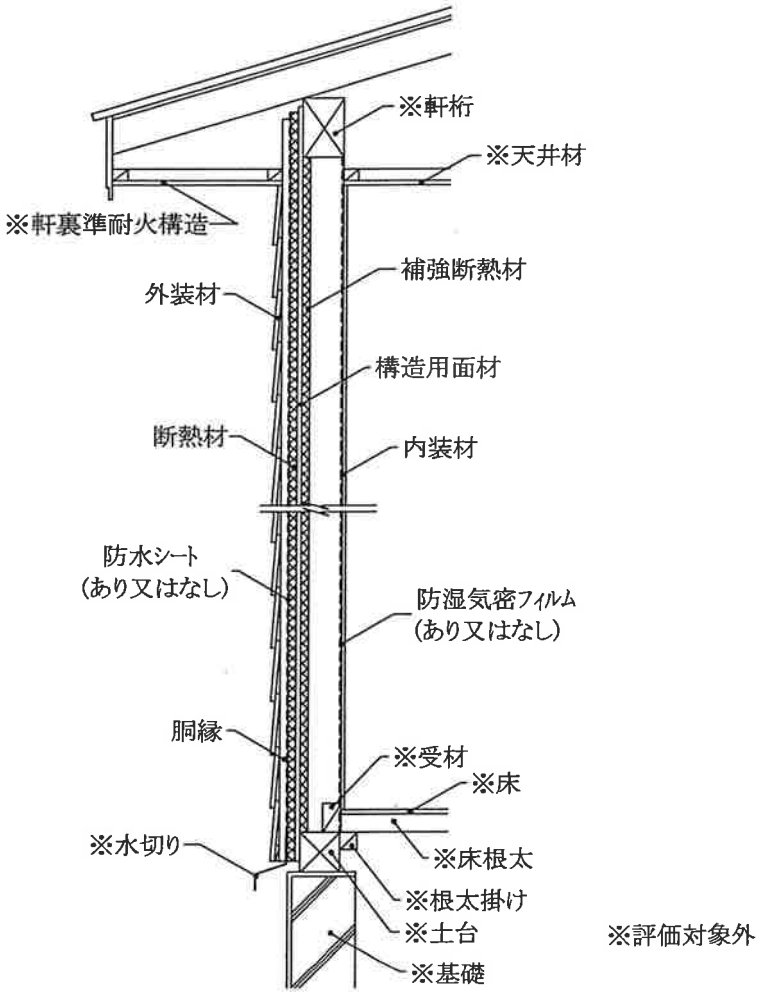
図49 施工図

補強断熱材充てん／外装材重張／断熱材張／
構造用面材張／せっこうﾎﾞｰﾄﾞ裏張／大壁造

単位 mm



水平断面図



鉛直断面図

図50　施工図